

近畿大学 文芸学部

〒577-8502 大阪府東大阪市小若江3-4-1

TEL (06) 4307-3061 FAX (06) 6721-6630

[入学センター] TEL (06) 6730-1124

[入試情報サイト] <https://kindai.jp>

[文芸学部サイト] <https://www.kindai.ac.jp/lit-art-cul/>

近畿大学文芸学部

文学科 [日本文学専攻 (創作・評論コース、言語・文学コース)、英語英米文学専攻] /
芸術学科 [舞台芸術専攻、造形芸術専攻] / 文化・歴史学科 / 文化デザイン学科

2024

KINDAI UNIVERSITY



Faculty of Literature, Arts and Cultural Studies

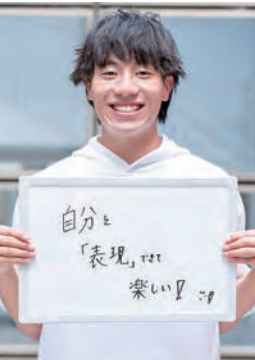


近畿大学文芸学部の良いところ、

スキなところは？



西田 綾花さん
文化デザイン学科[4年]
大阪府・近畿大学附属高校出身



金本 大空さん
芸術学科 舞台芸術専攻[3年]
大阪府・大阪学芸高校出身



向山 柚季さん
文化・歴史学科[4年]
奈良県立橿原高校出身



金 宰熙さん
芸術学科 舞台芸術専攻[3年]
大阪府立咲くやこの花高校出身



河合 恭佳さん
文化・歴史学科[4年]
愛知県立成章高校出身



桑谷 百香さん
文化デザイン学科[2年]
兵庫県立尼崎稲園高校出身



青山 卓矢さん
文化・歴史学科[3年]
北海道旭川南高校出身



中谷 菜桜さん
芸術学科 造形芸術専攻[3年]
大阪府立工芸高校出身



網 伸也教授



中本 大晴さん
芸術学科 舞台芸術専攻[1年]
愛知県立日進西高校出身



穴田 萌さん
文学部 英語英米文学専攻[2年]
大阪府立和泉高校出身



林 公子教授



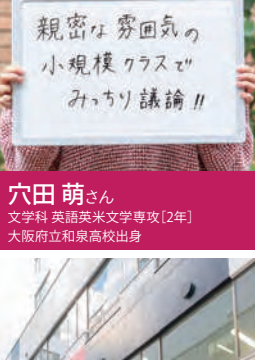
廣瀬 郁香さん
文化・歴史学科[3年]
神戸大学附属中等教育学校出身



河内 勇人さん
文学部 日本文学専攻[4年]
大阪府・近畿大学附属高校出身



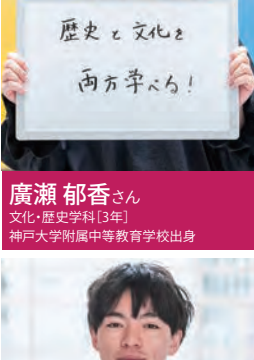
大橋 海優さん
芸術学科 舞台芸術専攻[3年]
京都府立桃山高校出身



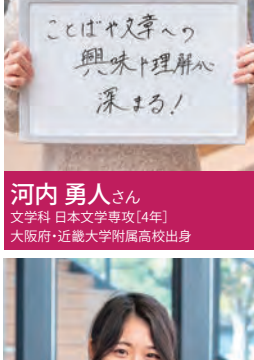
安田 紗依さん
芸術学科 造形芸術専攻[3年]
大阪府立山本高校出身



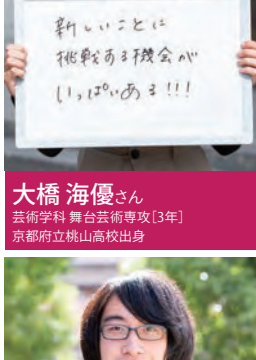
加藤 浩樹さん
文学部 英語英米文学専攻[4年]
大阪府・近畿大学泉州高校出身



坂根 梨子さん
文化デザイン学科[4年]
大阪府・阪南大学高校出身



川越 良樹さん
文学部 英語英米文学専攻[2年]
大阪府・上宮太子高校出身



米田 彩花さん
文学部 英語英米文学専攻[4年]
大阪府・近畿大学附属高校出身

近畿大学 文芸学部

CONTENTS

TOPICS 03

学びの特長

産学連携プロジェクト 05

学内・学外活動 07

国際交流

学部独自の留学制度 08

キャリア

資格取得 09

OB・OGメッセージ 11

インターンシップ制度／その他の資格 13

主な就職先／進学先 14

4年間の流れ

文芸学部の4年間 15

学科・専攻紹介

文芸学部の学科・専攻紹介 17

文学部 日本文学専攻 19

文学部 英語英米文学専攻 22

芸術学科 舞台芸術専攻 25

芸術学科 造形芸術専攻 30

文化・歴史学科 35

文化デザイン学科 41

教養・基礎教育部門 45

奨学金

奨学金 46

大学院

大学院 総合文化研究科 (4専攻) 46

施設

施設紹介 47

キャンパスライフ

一人暮らし・通学生 49

交通アクセス

交通アクセス 50

随時更新中。 文芸学部の最新の情報は ここでチェック

文芸学部のより詳しい情報について、ぜひ文芸学部の公式ホームページをご覧ください。本冊子には掲載されていない「最新の研究業績」、「文芸学部のトピックス、イベント、講演会、舞台公演、展覧会」などのさまざまな最新情報も入手できます。定期的にチェックして、興味深い話題を発見してください！

ホームページへアクセス！
スマホ版もこちらから
<https://www.kindai.ac.jp/lit-art-cul/>



*本誌に掲載されている学年表記は、取材時(2022年度)のもので、
また教員組織は2023年度のもので、2024年度は変更になる場合があります。

文学、歴史、文化、思想、芸術、コミュニケーションの知識や技能を身につけ、
社会に対し創造的な貢献のできる人を育成するため、さまざまなプロジェクトに取り組んでいます。

海外留学

語学力向上と異文化理解を図り、新しい自分を発見

本学部では、文学科 英語英米文学専攻を中心に、イギリスなどの大学への半期留学を実施し、留学前の諸手続きから留学中のケアまでサポートしています。また、成績優秀者は留学期間中の本学授業料が免除されます。現地生活を体験することで、語学の運用能力を向上させます。

※文学科 英語英米文学専攻では、留学は必修ではありません。
※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により変更または中止になる場合があります。



文理融合研究プロジェクト

文芸学部×生物理工学部「もの・仕組みづくり総合学習」

文芸学部と生物理工学部が連携し、文系と理系の学生が特定のテーマについて一緒に学ぶ講義科目「もの・仕組みづくり総合学習」を開講しています。両学部学生の「文理融合の発想」による問題解決能力の向上をめざし、「発酵食品」をテーマに3日間にわたって、文系・理系の講義（日本とヨーロッパの発酵食品文化、発酵食品の種類や原料、製造方法について）、および和歌山県での現地実習を行ったうえで、それらで学んだことを生かしたディスカッション・プレゼンテーションを実施します。



地域連携アートプロジェクト | 芸術学科 舞台芸術専攻

たんぼぼの家アートセンターHANA、NPO法人アジアハウスとの共同制作

舞台芸術専攻では、たんぼぼの家アートセンターHANAの障がい者メンバーとともに舞台作品「贅沢な時間」を上演したり、NPO法人アジアハウス子ども劇団・生野こもれび保育園と公演の共同制作をしています。学生たちは、障がいのある方々や、異なる文化にルーツを持つこともたちとその家族、施設の先生方や地域の人々などとの多くの関わりによって産み出されるさまざまな視点を経験します。こうした経験を通して誰一人として社会から取り残さないという理念を学習し、人々が抱えるさまざまな問題と向き合い、その解決に向けて舞台芸術というツールを使うことで、差別や偏見のない多文化共生の地域社会実現に向けてともに活動しています。



社会連携アートプロジェクト | 芸術学科 造形芸術専攻

「近大アートマルシェ in 近鉄百貨店」作品販売イベント

2021年から始まった近鉄百貨店との連携アートプロジェクト。2022年は9月22日～25日の4日間、あべのハルカス近鉄本店にて学生の作品を展示・販売する「近大アートマルシェ」を開催しました。エコをテーマに、授業や課題制作で余った材料や再利用可能な材料をリユースして作品を制作し、値付けて販売するという貴重な体験となりました。また、材料のリユースというエコを意識した作品制作を行うことで、アートを生かしたSDGs（持続可能な開発目標）「12.つくる責任つかう責任」の実践をめざしました。



学部連携プロジェクト | 芸術学科 造形芸術学科

近畿大学アンチエイジングセンター「近大アンチエイジング弁当」のロゴラベルデザイン

近畿大学アンチエイジングセンターと連携し、抗加齢を意識した「近大アンチエイジング弁当」のロゴラベルのデザインを担当しました。この弁当は、本センターが予防医療としてのアンチエイジング効果を科学的エビデンスに基づいて実証する研究活動の一環として、研究・PR活動の講演会やセミナーなどのイベント参加者に無償配布し、実食者のアンケート結果をもとに、今後、本学ブランドとして、一般販売をめざします。



B&B project | 文化デザイン学科

キャンパス内にサテライト図書館を作り出す B&B project

実学教育の拠点施設であるACADEMIC THEATERと連携して、キャンパス内に期間限定のミニ図書館を作るプロジェクト。デザインやプロデュースの力で、普段気づかないような何気ない空間を魅力的な環境に変えました。文化デザイン学科4年生のチームが中心となって、他学部の学生も巻き込んで、企画からデザイン、施工、イベント運営、スポンサー探しまで行いました。



ホスピタルアート | 文化デザイン学科

「芸術から医学まで」総合大学である近畿大学ならではの文芸学部－医学部連携プロジェクト!!

文化デザイン学科と近畿大学病院が連携して「ホスピタルアート」のプロジェクトを実践しています。ホスピタルアートとは、病院を単なる治療空間に終わらせるのではなく、アートの力によって、心安らぐ人間らしい豊かな空間として提供することです。近年では医学部の学生たちもホスピタルアートを学んでいます。院内で美術展やパフォーマンス、音楽会などを開催し、新しい病院のあり方をプロデュースしています。



Future Ambient Project | 文化デザイン学科

近未来の環境のための感性デザインプロジェクト

宇宙での生活とは？ 空気で結界をつくるには？ 音で音をマスキング？ 昆虫食は救世主？ Future Ambient Projectは、自らの身体を取り巻く環境を別様に感じ、独自の方法で分析し、新たな着想のもとでデザインするための多様なワークショップを通して、近未来の環境を構想するプロジェクト。中長期的な展望のもとで、問うべき問いは何であるのかをゲスト・アーティストや科学者と一緒に考え、イノベーションにつなげます。感性学×デザイン×プロデュースを横断する文化デザイン学科ならではのプロジェクトです。



文芸学部では、さまざまな産学連携プロジェクトを行っています。
学生は企業と連携し、実学として商品開発やデザイン等を学ぶことができます。

芸術学科 造形芸術専攻



近鉄百貨店×近畿大学の包括連携協定記念ロゴとバレンタインフェアのスペシャルバッグをデザイン

近畿大学は近鉄百貨店との包括連携協定を2017年に締結しており、その一環として、近鉄百貨店の依頼を受け協定記念ロゴとバレンタインフェアのスペシャルバッグをデザインしました。これは学生の提案デザインを近鉄百貨店の関係者にプレゼンテーションし、採用案を決め、実用化するプロセスを経験するという実学教育の実践です。なお、採用にならなかった他のデザインも、2021年1月19日

～2月14日の期間にあべのハルカス近鉄本店ウイング館9階オープンスペースで展示されました。

芸術学科 造形芸術専攻

「KINDAI Ramen Venture 近大をすすらんか。」のロゴをデザイン



本学学生が飲食店の起業を体験する機会として、学生飲食店起業支援プロジェクト「KINDAI Ramen Venture 近大をすすらんか。」を開始し、東大阪キャンパス内の飲食スペース「ブロッサムカフェ」内に、学生が経営するラーメン店をオープンしました。本件のプロジェクトに関わるロゴやスタッフウェアなどは、芸術学科造形芸術専攻の学生がゼミ課題の一環としてデザインを提案。本学関係者の審査により、デザインが採択されました。

文化デザイン学科

商品のデザイン、ネーミングから広報映像までを一貫して制作 新靴下ブランド「AMENOKAK」



奈良県の靴下メーカー「エコノレック」が手がける新しい高機能靴下ブランドのネーミングとロゴデザイン、そして、靴下の柄デザインから広報映像までを、文化デザイン学科の学生が制作しました。ブランド名の「AMENOKAK(アメノカク)」は、古事記に登場する鹿の神様。険しい山道を駆ける健脚のイメージからネーミングしました。スポーツタイプとタウンユースの2種類の柄をデザインし、それに合わせた2種類の動画も学生主体で制作しました。

文化デザイン学科



@aroma×文化デザイン学科 嗅覚文化を創造する—アロマ空間デザインプロジェクト

文化デザイン学科にはアロマ空間デザインを実践的に学ぶ他に類を見ない演習があります。一流のアロマ空間デザイナーの指導のもとで、匂い／香りへの気づきからエッセンシャルオイルの蒸留、調合、実演までを多角的に学ぶことができます。五感のなかでもっとも大切なものを問われ、嗅覚をあげるひとはそれほど多くないかもしれません。しかし実際には匂い／香りは、わたしたちの意識の背後から、身体や感情に常に働きかけ、

記憶にも深く浸透します。このプロジェクトでは新たな嗅覚文化デザインの担い手を育成すること、長期的なビジョンのもとで厚みのある嗅覚文化を創造することをめざしています。

文化デザイン学科

南海沿線のまちの魅力を若者目線でプロデュース 大阪府、南海電鉄との協働による大阪産農産物プロモーションイベント

新型コロナウイルスによる影響を受けている大阪府内の農業生産者を支援するため、南海電気鉄道株式会社と大阪府内の若手農家で組織する協議会らが連携して「今こそ、がんばりまっせ!南海なんば大阪産軽トラマルシェ」を開催しました。その際、南海沿線のまちの魅力と大阪産農産物の美味しさをどのように伝えプロモートすれば良いかを、学生たちが若者目線で提案し、農家へのインタビュー、宣伝ビデオの制作からマルシェでのイベント開催など、トータルにプロデュースしました。



文化デザイン学科

リサーチから制作までを国内外のクリエイターとコラボ 東大阪都市ブランディングプロジェクト

ラグビーW杯日本開催にあわせて「モノづくりのまち 東大阪」を世界に発信するため、文化デザイン学科の教員、学生、そして外部クリエイターとのコラボレーションで、東大阪市の公式都市ブランディングを手掛けました。町工場がつながって製品を生み出す様を表した「東大阪フォント」をはじめ、東大阪の代表的な製品であるネジを主役にしたアニメーション、ウェブサイトなどを制作。さらには、東大阪のまちの特性にあわせた自転車や、クリエイターが集うモノづくり拠点まで、多様な領域を取り扱う学科の特性を生かしたブランディング展開を行いました。「東大阪フォント」は市内の公立施設や企業などにも使用されています。



教職課程をはじめ
さまざまな資格取得をサポート

資格

資格取得のための課程

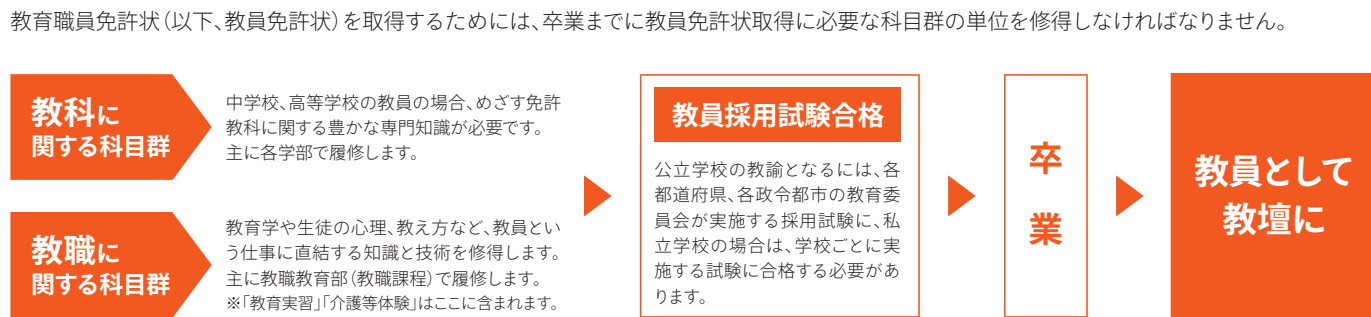
教職課程

中学・高等学校の教員免許状の取得には、各学科の卒業単位とは別に免許科目に応じた教職課程の単位の修得が必要です。1年次から必要科目を履修することで、教員になるための道を開きます。

	文学科		芸術学科		文化・歴史学科	文化デザイン学科	備考
	日本文学専攻	英語英米文学専攻	舞台芸術専攻	造形芸術専攻			
教員免許状	国語 (中一種) (高一種)	英語 (中一種) (高一種)	国語 (中一種) (高一種)	美術 (中一種) (高一種) 工芸 (高一種)	社会 (中一種) 地理歴史・ 公民 (高一種)	——	教職課程を受講し、 所定の単位を修得すること ※中一種：中学校教諭一種免許状 ※高一種：高等学校教諭一種免許状
図書館司書	○	○	○	○	○	○	司書課程を受講し、 所定の単位を修得すること
学芸員	○	○	○	○	○	○	博物館学課程を受講し、 所定の単位を修得すること

※図書館司書、学芸員についてはP.13「その他の資格」を参照してください。

教壇に立つまでの道筋



日本史のおもしろさを伝えられる教師をめざします！

小学生の頃から日本史が大好きで、近畿大学には日本中世史に精通している先生がいっぱい。と知り、文化・歴史学科を志望しました。教師をめざしたのは、歴史のおもしろさや奥深さを多くの人に伝えられると思ったから。教職課程では教育史や学習心理学など、教師になるために必要なさまざまなことを学びます。中でも、生徒への向き合い方について学べたことは、教育実習やスクールボランティアの際に生かすことができました。しかし、現場では習った通りにいかないこともあると痛感。教員をめざす学生の自主サークル「教職ナビ」にも参加し、同じ夢をめざす仲間たちと切磋琢磨し、無事教員採用試験を突破することができました！

愛須 柚菜さん
文化・歴史学科[4年]大阪府立鳳高校出身



教員採用試験合格者数 (2023年2月1日現在)		小学校	小中 いきいき	特別 支援	中学校 国語	中学校 英語	中学校 美術	中学校 社会	中高 国語	中高 英語	中高 地歴	高校 国語	高校 英語	高校 地歴	高校 公民	総計
文芸学部	2022年度	0	―	0	1	1	1	2	0	0	0	1	0	1	0	7
	2021年度	0	―	0	1	2	0	3	0	0	0	4	1	1	0	12
	2020年度	1	―	2	3	1	0	2	0	0	0	2	0	0	0	11
	2019年度	2	―	0	5	2	0	0	1	―	―	1	0	0	0	11
総計		3	―	2	10	6	1	7	1	0	0	8	1	2	0	41

※在学中に合格した人数です。小学校の教員免許状取得には提携大学の通信教育課程の単位修得が必要です。



教員採用
試験対策
講座カレンダー

- 4月
APR
- 入門ガイダンス「教員になるためには」(1年)
教員採用選考に関する説明会
宿泊学習会Ⅱ(4年)
- 5月
MAY
- スクールボランティア説明会
スクールインターンシップ説明会
ブラッシュアップ講座(4年)
- 6月
JUN
- 面接試験対策講座Ⅱ(4年)
- 7月
JUL
- 直前対策講座(4年)
教員採用試験第一次試験(4年)
- 8月
AUG
- 直前対策講座(4年)
教員採用試験第二次試験(4年)
- 12月
DEC
- 宿泊学習会Ⅰ(3・4年)
- 1月
JAN
- 文芸学部
教員採用試験合格者報告会
- 2月
FEB
- 面接試験対策講座Ⅰ(3年)
- 3月
MAR
- 教員採用試験対策
春期集中講座(2・3年)

小学校教諭一種免許取得プログラム

小学校の先生もめざせる小学校教諭一種免許取得プログラム

本学の卒業要件と中学校教諭一種免許状の取得要件を満たし、当プログラム(提携大学の通信教育課程)で必要な単位を修得すると、小学校教諭一種免許状を取得することができます。

※本学の学費に加えて提携大学での履修料などが別途必要になります。

プログラム概要	プログラム参加条件
●募集人数／最大50人 ●履修期間／2～4年次 ●費用／提携大学に直接納入	●法学部、経済学部、経営学部、理工学部、薬学部(創薬科学科のみ)、文芸学部(文化デザイン学科除く)、総合社会学部、国際学部(グローバル専攻のみ)、農学部(食品栄養学科除く)のいずれかの1年次に在籍する者。 ●教職課程において中学校教諭一種免許状取得を目的とした履修を行い、「教職入門」を修得済みの者または修得見込みの者。 ●1年次(前期)において学部開講科目を14単位以上修得し、成績優秀な者。 ●小学校の教員に就くことを強く希望する者。 ●毎週2回6限目(実施曜日は未定)の学内補習に必ず出席できる者。 ●提携大学に費用を滞りなく納めることができる者。

欲張った目標でも小学校の先生になる夢を叶えることができました！

英語を深く学びたいという思いと、小学校の先生になりたいという2つの目標がありました。進路に悩む中、近畿大学では英語の教員をめざしながら小学校教諭の免許も取れるということを知り、私にぴったりの学びができると思い入学。夢を叶えるため勉学に励んでいましたが、実技で器楽演奏があると知り、試験の約1年前からピアノ教室へ通って基礎から毎日コツコツ練習し、習得したことが一番苦労したところ。無事、教師になることができましたが、いろんな不安が募る中、初めて受け持った子どもたちに、サプライズで誕生日をお祝いしてもらったことは一番の思い出で、心の底から教師になってよかったと思うひとときでした。

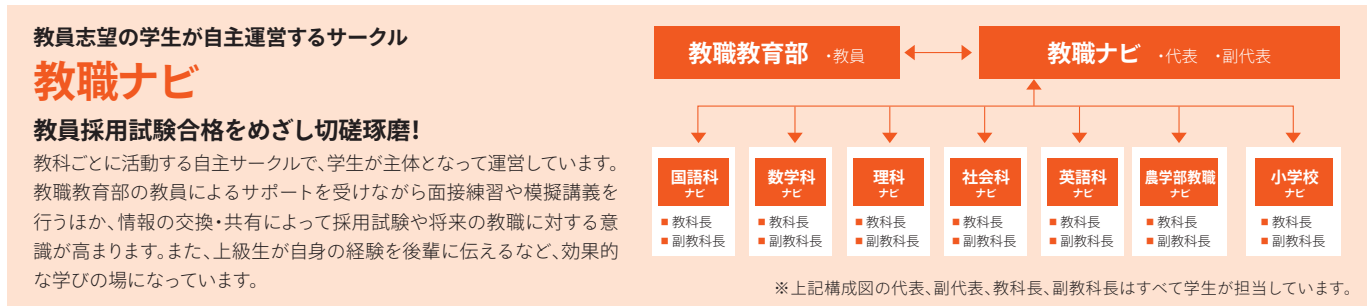
馬場 真美さん
文学科 英語英米文学専攻[2019年卒業]



スクールインターンシップ

教員をめざす学生の就業体験。教育実習ではできない経験を積む

スクールインターンシップとは、主に教職を志望する学生が教育現場での経験を積むために小学校、中学校、高等学校、特別支援学校などの協力を得て学校現場に入り、授業補助、部活動、学校行事、事務などの実務経験をすることで単位が認定される活動です。通常行われる教育実習が教科指導を中心としているのと異なり、スクールインターンシップは教員の仕事全般に接することで、学校現場に対する理解を深めます。教育活動の手助けをし、児童・生徒を教え導くという、大学内では得られない体験を通して、教員を志望する者としての責任を自覚するとともに、人間的にも成長できる良い機会となっています。



文芸学部で培ったものを社会で生かしている卒業生たち

OB・OGメッセージ

大好きな図書館業務の表と裏を知り、
利用者に喜ばれる存在として活動し続けたい！

文学科 日本文学専攻

2015年卒業 | 大阪大学附属図書館 勤務

是枝 奈美江さん

高校生の頃から「将来は図書館司書に」と決めていました。夢がかなって、大阪大学附属図書館の利用支援課で働いています。正面玄関を入ったと

ころのメインカウンターが私の持ち場で、本の貸出・返却、利用案内、蔵書管理などを担当。学生時代には、図書館をよく使っていましたし、図書館でのアルバイトも経験したので、仕事にすとなじめました。私は利用者と交流するのが好きで、不安げにやってきた学生にアドバイスをし、笑顔で帰っていくのを見ることがうれしいですね。それが、やる気の源です。これからは、目録作成など裏の仕事も経験し、プロとしての引き出しを増やして、ふたたびカウンターに戻ってきたいと思っています。



在学中に培った経験を生かし、
お客さまの心に寄り添う客室乗務員をめざしたい

文学科 外国語外国文学専攻
(現 文学科 英語英米文学専攻)

2019年卒業 | 日本航空株式会社 勤務

今野 真菜子さん

私は授業で先生と将来を考えたことがきっかけで、現在日本航空の客室乗務員として働いております。専攻では、自然表現を学ぶことも多く日々の

小さな四季の変化など発見する心を養いました。また、留学制度が充実しており、アイルランドへ語学留学に参加し培った英語力が機内で役立っています。在学中にさまざまな経験を重ねることで十人十色の背景をお持ちのお客さまの目線に立つ大切さを学びました。弊社の共通認識の一つに、能力は必ず進歩するという言葉があります。素晴らしい先生方、仲間が皆さんを待っています。皆さんの努力が実りますよう応援しております。



恩師や友人に支えられ叶えた「劇場で働く」という夢
文化芸術を通して人々の暮らしを豊かにしたい！

芸術学科 舞台芸術専攻

2017年卒業 | 公益財団法人名古屋文化振興事業団 勤務

大野 真里奈さん

「好きなことを仕事にしたい」を軸に就職活動を行っていました。現在、当財団が管理する名古屋市内23の文化施設が実施する事業の経営戦略や

サービス方針を企画・検討しながら、各施設や名古屋市の調整役を担っています。在学中は舞踊創作を学びながら舞台監督として裏方も経験。ベルギーでの国際交流企画や劇場へのインターンシップ、国際芸術祭への出演や学生舞踊連盟での活動など多岐に渡る経験で培ったコミュニケーション能力は、卒業後も生かすことができている。文化芸術の力と劇場という場を通して、一人でも多くの方の暮らしを豊かにしていきたいです。



文芸学部の大きな特色の一つが、進路の幅広さです。
専門知識を生かした職業だけではなく、
在学中に身につけた豊かな教養や感性、創造力などを多彩なフィールドで発揮しています。

学んだすべてが業務に生かされていると実感！
平面から立体まで幅広いデザインにチャレンジしたい

芸術学科 造形芸術専攻

2020年卒業 | ナカバヤシ株式会社 勤務

古田 絵梨奈さん

私が所属している部署は、企業向けのノベルティデザインやDTPを中心に、AR企画など幅広い業務に携わっています。専攻していたグラフィックアートゼミでは、

パッケージデザインなど実用性の高い技術を学びながら産学連携課題にも取り組み、在学中から現場に触れられる貴重な機会で、いち早く実社会で通用するデザインの基礎知識や経験を培うことができた。業務を進める中で実感することが多くあります。就職活動ではポートフォリオの提出を求められることが多く、先生にサポートいただきながら見せ方を意識して制作。自信を持って挑むことができました。今後は、平面だけでなく幅広いデザインにチャレンジし、自分の中にある“創造”を形にできるようになりたいと考えています。



大学でのフィールドワークは仕事の原体験
公務員としてまちの活性化に貢献していきたいです

文化・歴史学科

2011年卒業 | 和歌山県庁 勤務

大亦 有希さん

文芸学部の学びで特に楽しかったのは、さまざまな場に出向くフィールドワークです。その地域について調査するとともに実際に話をうかがい、地域

の資源活用について考察しました。大学時代のそうした活動が、和歌山のまちづくりにかかわる機会のある職場でのやりがいに通じてと考えています。まちづくりでは、歴史・文化や地理といった地域の特性を大切にすることや、現有の資産を最大限活用するといった観点が重要で、大学で培った視点を生かして、『温故知新』を軸にふるさとへの関わり方を考えていきたいです。これからも公務員として地域への奉仕の意識を忘れずに、まちの活性化に貢献していきたいと思っています。



実学教育で得た実践力を武器に日々鍛錬
常識にとらわれず多角的な活躍をめざしたい

文化デザイン学科

2020年卒業 | 株式会社大広 勤務

池田 龍人さん

広告会社のプランナーとして、オンラインイベントの企画提案やイベントで使用する画像や動画の制作などに携わっています。苦労すること多いですが、自分

のアイデアが取り入れられることや成果が目に見えてわかるので、日々やりがいを感じています。在学中は実践的な講義が多く、学生のうちから企業の方と連携を図ることも多かったため、就職後も身構えることなく、前向きに業務に励むことができています。中でも産学連携プロジェクトとして東大阪市のブランディングに携われたことは、とても良い経験で、身につけた知識や経験を大いに生かすことができています。「前提を疑え」という恩師から教わった言葉を胸に、クリエイティブなプランナーをめざしていきたいです。



インターンシップ制度

現場で学ぶことでさまざまな気づきを得る

文芸学部インターンシップは、2年次以降が対象。

行政機関から一般企業、各種研究機関まで業種は広範囲に及び、主に夏期休暇期間中に行われます。

就業体験前には、マナー研修も実施されるので安心。

研修先と担当教員の双方から高評価を得られれば、自由選択科目「インターンシップ」2単位が認定されます。

インターンシップ体験談

インターンシップを通して、必要なスキルに気づくことができました



自分の“好き”を仕事にすることはどういうことだろうと思い、先生に紹介いただいた総合工芸施設の吹きガラス工房で5日間、主にアシスタントとして指導員の方や体験に来られる方のサポート業務を担当させていただきました。制作工程はこれまでに学んできたことと同じですが、お客様とのコミュニケーションの取り方や伝えることの難しさ、周りを察して自主的に動くことの大切さを痛感。知識や技術を身につけるだけではいけないと学び、とても充実した日々を過ごすことができました。このインターンシップを通して改めて吹きガラスが好きだと認識し、モノを創る楽しさや喜びを伝えられるようになりたいと強く思いました。

石橋 穂香さん

芸術学科 造形芸術専攻[4年] 兵庫県立加古川東高校出身

その他の資格

司書課程

公立図書館員になるために必要な図書館司書の資格取得課程。資料の整理技術や情報処理に関する専門能力を身につけたスペシャリストとして、図書館はもちろん、さまざまな職場での活躍をめざします。本学では、司書資格はもちろんのこと、検索技術者検定、ファイリングデザイナー検定、電子ファイリング検定、文書情報管理士などの関連資格取得も可能なカリキュラムを提供しています。

博物館学課程(学芸員)

学芸員資格を取得する課程です。学芸員とは、博物館や美術館などで資料の収集・保存、調査研究、展示などを担当する専門家のこと。専門知識はもちろん、展示を企画し実現するための構想力や実行力、幅広いジャンルの人と円滑にコミュニケーションをとる能力も必要です。文芸学部では、学芸員資格を、文化に対する高い関心と教養を備えていることを示す資格として重視しています。本課程では、ミュージアムにかかわる専門知識の習得や学外実習での学びを通して、さまざまな場面で文化を支えられる人材になることをめざします。

日本語教員養成課程

国際化が進む現代社会では、日本語の習得を望む人の増加とともに日本語教員の需要も高まっています。文芸学部では日本語教員養成課程を設置し、今後の国家資格化も見据えた日本語教員養成を行っています。課程の必修科目「日本語音声学」「日本語教育文法」「日本語教授法1〜4」では、実践的な知識とスキルの習得を重視。課題やロールプレイを通して基礎を学び、最終的には実際の日本語学習者に教える教育実習を行います。

日本語教員養成課程 修了者インタビュー

日本語教員資格取得への環境に恵まれ、外国人との交流も貴重な学びの機会に



高校の頃から日本語教員をめざし、資格取得に必要な指定科目を学べる環境が整っている文学科 日本文学専攻 言語・文学コースに進学。先生方に、模擬授業などで外国人と知り合う機会を多くいただき、国別に間違いやすい文法・発音などを知ることができました。国ごとに教え方を工夫する術を身につけたことが、今の仕事に生かされています。現在は、レベルの異なる5つのクラスを教えています。学生が勉強するうちに、意思疎通ができるようになってうれいですね。日本語能力検定試験で必要なレベルに合格し、次のステップに進んでもらうことに、大きなやりがいを感じています。

白石 彩さん

文学科 日本文学専攻[2018年卒業] 奈良県立登美ヶ丘高校出身

主な就職先／進学先

多種多様な進路が広がる文芸学部の卒業後

文芸学部で身につけた知識・技術を生かした

専門的な分野への就職のほか、少人数のゼミナールなどで培った

コミュニケーション力やプレゼンテーション力、

さらには他者と協調しながら、粘り強くものごとに取り組む姿勢など、

さまざまな業種・業界の求める素質が高く評価され、

文芸学部の卒業生は一般企業でも幅広く活躍しています。

個性豊かな学部の特徴を生かして、企画・制作・デザインなどの職種で活躍している人もいます!

大広／ナカバヤシ／TBSグロウディア／セブテーニ・ホールディングス／アイレップ／小西印刷所／アイガー／大伸社ディライト

また、大日本塗料ではカラーコーディネーター&デザイナー、平和紙業では展示企画担当など、さまざまな分野で活躍しています。

建築・不動産業

大和ハウス工業／三井不動産リアルティ／住友不動産販売／セキスイハイム近畿／タマホーム／大東建託／住友林業ホームサービス／エイブル／共立メンテナンス／サンヨーホームズ／日住サービス／ハウズドゥ／賃貸住宅センター／三菱UFJ不動産販売／浅海電気／長谷工リアルエステート ほか

製造業

アイリスオーヤマ／伊藤園／ゼブラ／ツムラ／ナカバヤシ／文化シヤッター／味覚糖／中本パックス／マックス／ヒガシマル醤油／シーボン／イビデン／ユシロ化学工業／クラウン・パッケージ／ゼブラ／イムラ封筒／川本産業／シノプフーズ／ムーンスター ほか

運輸業

日本航空／ANA関西空港／ANA大阪空港／東日本旅客鉄道／近畿日本鉄道／大阪市高速電気軌道／日本通運／日新／大阪モノレールサービス／ハマキョウレックス／イオングローバルSCM ほか

卸売・小売業

近鉄百貨店／近鉄リテーリング／大塚家具／ニトリ／良品計画／上新電機／コーナン商事／因幡電機産業／アスクル／コカ・コーラボトラーズジャパン／アダストリア／ベイクルーズ／日本ロレアル／ココカラファイン／ヤマダ電機／スギホールディングス／コスモス薬品／万代／アットアロマ／ネクステージ／システナ／マナペインテリアハーツ／愛知トヨタ自動車／イオンリテール／ジーユー／ヨドバシカメラ／たねや ほか

金融・保険業

日本銀行／りそな銀行／関西みらい銀行／日本郵政／池田泉州銀行／紀陽銀行／南都銀行／近畿産業信用組合／尼崎信用金庫／イオンフィナンシャルサービス／岡三証券／ソニー損害保険／香川銀行／住友生命保険／東洋証券／愛知銀行 ほか

飲食・宿泊業

アパホテル／阪急阪神ホテルズ／ホテルモントレ／ルートインジャパン／リゾートトラスト／くら寿司／あきんどスシロー／タリーズコーヒージャパン／ホテルニューアワジ／叙々苑 ほか

教育・学習支援業

近畿大学／河合塾／浜学園／京進／金沢医科大学／関西福祉科学大学／東京アカデミー／浪速学院／ウィルウェイ／リーフラス ほか

複合サービス事業

日本郵便／大阪中河内農業協同組合／大阪南農業協同組合／堺市農業協同組合／大阪泉州農業協同組合／兵庫県六甲農業協同組合 ほか

サービス業

日本旅行／JTB商事／リクルート／大広／ZOZO／ラウンドワン／西尾レントオール／ダスキン／総合警備保障／パーソルキャリア／WOWOWコミュニケーションズ／エン・ジャパン／テクノプロ／トランス・コスモス／クリーク・アンド・リバー社／USEN-NEXT HOLDINGS／TBSグロウディアプラス／アウトソーシングテクノロジー／西日本技術コンサルタント ほか

公務・教員

防衛省陸上自衛隊／防衛省海上自衛隊／大阪府庁／京都府庁／奈良県庁／大阪市役所／神戸市教育委員会／京都府教育委員会／池田市役所／堺市役所／八尾市役所／大阪府教育委員会／奈良県教育委員会／和歌山県教育委員会／岡山県教育委員会／大阪市教育委員会／堺市教育委員会／兵庫県警／和歌山県警／香川県警 ほか

大学院

近畿大学大学院／大阪教育大学大学院／京都教育大学大学院／奈良教育大学大学院／大阪市立大学大学院／大阪大学大学院／大阪公立大学大学院／鳴門教育大学大学院／関西大学大学院／立命館大学大学院／大阪芸術大学大学院／京都情報大学大学院 ほか

※2020年3月～2022年3月の卒業生の実績(順不同)です。

4年間の流れ

文芸学部での4年間は
基礎を培い、専門的に学び、研究テーマを追う。

1 年次

幅広く基礎を学んで
自分自身の可能性に気づく

2 年次

自分の興味・関心を
少しずつ専門へと近づける

3 年次

進路や研究テーマなど
目標を掲げて専門性を伸ばす

4 年次

専門性や個性を発揮して
研究や創作に取り組む

文学科

文化・歴史学科

文化デザイン学科

4年間の学びを知る

まずは学問の基礎的素養を身につける

専門分野へ足を踏み入れる前には、豊富な知識や技術、多面的な視点を持つことが重要です。また英語の基礎力を身につけることも欠かせません。1年次前期の「基礎ゼミ」は少人数制。担当教員のもと、学問に必要な基礎力を養成するとともに、本学部で何を学ぶのかを日常的にガイダンスしていきます。



文学科

文化・歴史学科

文化デザイン学科

興味ある分野を見つける

基礎力を生かして、専門分野を究める

1年次に身につけた基礎的素養を土台に、専門分野に取り組みます。自分の興味の対象を見つけ、研究テーマの決定へとつなげていきます。



文学科

文化・歴史学科

自らの興味を深める

研究テーマを探究するゼミがスタート

3年次になると、いよいよゼミが開始されます。各学科のゼミは少人数制となっており、担当教員から一人ひとりの興味や学習進度に合わせたきめ細かい指導を受けられるのも特筆すべき点。フィールドワークや実習なども数多く実施され、学内で学んだことを五感で感じることで学習意欲がさらに深まります。



文学科

文化・歴史学科

オリジナルな研究に取り組む

4年間の学びの集大成に取り組む

講義や専門ゼミ、フィールドワークなど、本学部での3年間で培った知識や体験を通して、自らの専門分野の研究を完成させるのが4年次の課題。4年間で学んだ知識、分析力、思考力、発想力などを総動員し、独自の研究を一つの形にまとめ、卒業論文として仕上げます。



芸術学科

表現の基盤となる知識を習得
芸術の基礎を幅広く学ぶ

舞台芸術専攻では、実習と講義の両面から舞台芸術を学ぶ上で必要な基礎を身につけます。造形芸術専攻では、多彩なゼミから4つのゼミを選択。芸術を学び、表現する上で欠かせない知識を得るとともに視野を広げます。



芸術学科

進路を意識した学びを開始
専門性を高め磨いていく

自分の希望する進路に沿った学びをさらに深め、磨きをかけていく学年。実習や講義を通して、表現力、技術、専門的な知識を深めます。



芸術学科

文化デザイン学科

学内外への発信を試みる

創造する力、表現する喜びを深める

表現力・企画力をより一層磨き、学内外での実習公演、作品展、研究発表などに取り組みます。さまざまな発信の機会を持つことで、構想することへの探究心が増し、創造への意欲が高まります。



芸術学科

文化デザイン学科

オリジナルな創作・研究に取り組む

4年間で育んだ創造・企画力をカタチにする

4年次では、「卒業研究」「卒業制作展」「卒業プロジェクト」で成果発表を行います。各自が究めた専門的表現力を作品に集結。舞台芸術専攻では、舞台作品を創ったり、個人で卒業論文を執筆。造形芸術専攻では、各自が作品を制作したり、卒業論文を執筆。文化デザイン学科では、プロジェクト研究発表やデザインプレゼンテーションを行います。



学びの領域を広げよう
充実したキミの4年間

カリキュラム
解説

大学生としての土台をつくる共通教養科目

大学生として学びの土台を築くために必要な科目群。幅広い知識を得ることは、専門分野を研究する上でも重要で、発想力や分析力を養うことにもつながります。

仲間とともに研究に取り組むゼミナール

ゼミナールは、自分で見つけた研究テーマを掘り下げる少人数制授業。研究分野を究めた教員のもと、同じ興味を持つ仲間とともに学び、刺激し合う場は人間としての柔軟性を深めます。

特定の分野に精通するための専門科目

専門的な知識や技術を習得するための科目群。第一線で活躍するクリエイターや研究者である教員から直接指導を受けられます。

現地に出向いて調査・観察に励むフィールドワーク

講義で得た知識や技術をさらに進化させるのが、現地へ出かけるフィールドワーク。聞き取り調査、観劇実習、街歩き、博物館・美術館・史跡見学、工房見学など、国内外を問わず行われ、国際的、社会的視野を広げるのに役立ちます。



今城さんの時間割(1年次)

時限	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1		人権と社会 1			
2	中国語総合 1			基礎ゼミ	
3		翻訳文学	文学のジャンル 1	文学概論 1	
4			作品論		
5		コンピュータ実習 1			日本文学論
オンデマンド (動画配信)		現代社会と倫理／思考の技術／英語 1 A／英語 1 B／オーラルイングリッシュ 1			

今城 七海 さん 日本文学専攻[2年]
香川県・香川県藤井高校出身

専門分野の研究・修得は本質を見極める眼を養うことになる

日本文学専攻では、「日本文学」「日本語」をグローバルな視点から学ぶために幅広い知識を身につけ、読解力・思考力・分析力・想像力・表現力を磨くことを目標としています。「創作・評論」「言語・文学」の2コースを設けていますが、学生が自分の知的好奇心の赴くままに学べるよう、〈創造〉と〈研究〉の2つの側面をコースとして独立させると同時に、多彩な講義科目を通して両者の融合と交流を図っています。2つのコースはそれぞれ独自の領域を持っていますが、学生が自分の希望・関心に応じてさまざまな才能を発揮し、自己を表現できる力を育てるようにカリキュラムを相互交流できるものになっています。詩歌・小説・批評・文学・言語研究にとどまらず、その背景にある歴史、文化、社会、思想についても広く学びます。

創作・評論コース

文学の創造と批評の技術を、日本だけでなく、諸外国のさまざまな芸術、文学の思想・表現を通して学び実践していくことをめざしています。創作・批評の方法を学ぶ演習のほかに、創作の実践や雑誌の制作など学んだことを生かすための実習も用意しています。

言語・文学コース

日本語の歴史や現状、また記紀・万葉の古代から近現代に至る日本文学の表現と思想を学びます。学術的な考え方を学び発表する力を身につける演習のほかに、文献資料調査の手法を身につける「フィールド・ワーク」のような、学んだことを生かすための実習も用意しています。

自ら文学の世界に飛び込み、文学への理解を深める

今城 七海さん

国語が大好きで学びを追求したいと思い、オープンキャンパスに参加。先生や学生がいきいきと輝いて見え、楽しんで学べる環境だと実感し、この専攻を志望しました。「こころ」「ハムレット」「浮雲」などの有名文学作品を用いて、作品が私たちにもたらす影響や小説の書き方といった、文学におけるさまざまな形式の創作と評論を学んでいます。自分たちで読み解き、考えるので「文学」の理解を日々深めることができます。

取得可能な資格 ■ 中学校・高等学校教諭一種(国語) ■ 司書 ■ 学芸員 など

学びのポイント

POINT 1 少人数クラスでの講義

1クラス10人〜20人程度の少人数での講義を中心にカリキュラムが組まれています。大教室での講義にはない、きめ細かな指導を行っています。

POINT 2 日本語を読む力・書く力の総合的な養成

創作・評論コースでは、小説・詩などの創作や評論を目標に卒業制作を行います。言語・文学コースでは、日本文学・日本語についての学習成果をレポート・卒業論文にまとめます。

POINT 3 現役の作家・ライター・評論家による実践的な講義を開講

芥川賞の選考にかかわっている教員が、現在の日本文学のレベルに基づいた実践的な講義や指導を行っています。

カリキュラム

言語能力の向上、広範な知識の蓄積は発想力、洞察力、表現力を豊かにする

創作・評論コース

現代の「知」をあらゆる視点から研究。文学における多様な形式の創作と評論を学ぶコースです。芸術、文化、思想、批評などさまざまなジャンルの技法を学ぶ実作トレーニングを採用し、思考、編集、デザイン力を研磨。小説家、編集者、学芸員など、時代が求める表現のプロフェッショナルを育てます。

言語・文学コース

さまざまな時代やジャンル、または自己表現の手段として存在する日本文学・日本語を探究するコース。教室での学びはもちろん、フィールドワークや文献探索、情報処理など多角的なアプローチで、実社会に役立つ能力を育成。「ことば」の専門家として、さまざまな世界で活躍できる人材を輩出します。

	1年次	2年次	3年次	4年次
創作・評論コース	専門基礎研究 文学概論 映像・芸術基礎 古典と現代 文芸特殊講義1・2 日本語音声学 日本語教育文法 日本語教授法1・2 留学プログラム I 創作基礎 批評理論 芸術と文学 映画史 メディア論 翻訳基礎 編集基礎 文学のジャンル1 文学のスタイル1 古典への招待 作家論 作品論 翻訳文学 日本語概論 日本語文法	クリエイティブライティング1・2 PICK UP 1 創作技法 文芸批評 現代思想 外国文学 映像と文学 比較文学 推理小説論 マスメディア論 ジャーナリズム論 編集技法 編集・出版論	創作・評論演習1 創作研究 評論研究 編集研究	創作・評論演習2
言語・文学コース		フィールド・ワーク PICK UP 2 アカデミック・ライティング 上代・中古作品講読 中世・近世作品講読 近代文学講読 現代文学講読 現代表現史論 日本語史論 社会言語学 テキストクリティーク	言語・文学演習1 日本語研究 文学テキストの読み方	言語・文学演習2

※科目は一部抜粋です。

※カリキュラムは2023年度のもので、2024年度は変更になる場合があります。

PICK UP SEMINAR

深澤 愛 ゼミ

文献資料から 日本語の歴史を探索



深澤 愛 准教授

過去の日本語の姿を知り、現代語への変化の過程を考える

深澤ゼミでは、日本語の歴史を考えるために必要な文献資料の調査方法や論証のしかたを学びます。古いことばが記録された文献資料が豊富な日本では、それらを駆使した日本語史研究が盛んだからです。学生は、自分が疑問に思ったことについて文献資料を調査して考えをまとめます。教員のアドバイスはありますが、基本的には自分の力で進めていきます。1か月ほどかけて調査し考察した内容について口頭発表を行い、他の学生から質問や意見をもらうことで考えをさらに深めていきます。口頭発表は力作揃いでユニークな質問も毎回出てくるので、私自身いつも授業を楽しんでいます。

日本語が持つ表現力を見つめ直す機会になりました

言語学や日本文学に興味があり、この専攻に進みました。ゼミ生の人数が多く、和気あいあいとした雰囲気でも毎週楽しく学ぶことができている。自分の興味のある研究テーマを考え、そのテーマに関する文献資料を調査し、発表を行います。発表後にはゼミ生から多種多様な意見が出るので、これまで気がつかなかった視点に気づくことができ、探究する力が身につきました。また、授業を通して日本語の使い方について改めて意識するように。将来は高校の国語教師をめざしているので、ゼミで培った探究心や表現力を生かし、専門性の高い授業ができる教員になりたいと考えています。



松村 弥生 さん[4年]
奈良県立欽徳高校出身



心底面白いと思えるものを
自力で発見することが
表現への鍵

奥泉 光 教授

日本の近現代史に関心を寄せつつ、小説という虚構の方法の可能性と限界を見きわめるべく、実際に小説を日々書いています。

主要担当科目 芸術と文学、創作技法
研究内容 小説の可能性と実験



「批評」とは、その実践を通して
「現在」と切り結んでいく営み

中島 一夫 教授

文学や映画、現代思想などのジャンルを横断的に分析しながら、未だその価値が定まっていない現代の作品の真価を見きわめていきます。

主要担当科目 映像と文学、現代思想
研究内容 文学、映画、現代思想など諸文化領域における言語形態の分析と批評的実践



それまで意識することのなかった
別の自分を見いだそう

八角 聡仁 教授

1960年代以降の日本の芸術領域の交叉とそれをめぐる言説の分析をしています。未知なものを通して自身が変わることを楽しんてください。

主要担当科目 映画史、クリエイティヴ・ライティング
研究内容 文学、芸術などにおける表象システムの分析と批評的実践



明治の知識人を研究し、
大いなる愉悅にひたる

小森 健太郎 教授

黒岩涙香が翻案した原典を探究して、その比較研究を行っています。幅広い知見を得て、世界と存在への理解を深めましょう。

主要担当科目 推理小説論、外国文学
研究内容 黒岩涙香の翻案原典研究など



明治以降、小説や評論が
どんな条件のもとで書かれ、
読まれていたかを考える

栞原 文和 教授

明治時代の小説を掲載していたメディアの特徴や、小説以外の記事が小説とどう関連していたかを中心に研究しています。

主要担当科目 編集技法、日本文学史
研究内容 小説の可能性と実験



スリリングな言葉の世界へ
ようこそ

谷崎 由依 准教授

純文学と呼ばれるジャンルの小説を書き、英語圏の小説を翻訳しています。文学作品を読むこと、そして何より書くことについて、一緒に考えてみませんか。

主要担当科目 翻訳基礎、創作技法
研究内容 小説の創作、翻訳

言語・文学コース

「作家」「作品」という枠組みから
文学研究を解放する
「書かれたもの/書かれなかったもの」の
すべてが研究対象

藤巻 和宏 教授

寺社の関連資料をもとに、古代から中世の南部(奈良)における人・思想・言説の“動き”を研究。資料の発掘と分析から、新たな世界が見えてきます。

主要担当科目 中世の思想と表現、日本文学史
研究内容 説話、物語、寺社縁起、思想史、学問史



人と文の履歴の
底に未来を見る

大澤 聡 准教授

思想家や作家のテキストの読解を通して、激動期をサバイブするための思考回路を築いてもらいたと思います。大量の仕掛けを用意して待っています。

主要担当科目 文学概論、メディア論
研究内容 日本近代文学、批評

近世とはどのような
時代だったのか

井田 太郎 教授

俳諧がコアの専門ですが、美術も視野に入れ、近世のものの見方を研究しています。教科書に載っていない多様な世界をのぞいてみませんか。

主要担当科目 近世の思想と表現、古典と現代
研究内容 近世文学、文学と美術の相関性の研究



言語と世界は1対1で
対応するのだろうか

大田垣 仁 准教授

比喩表現を手がかりに、言葉の形と意味がミスマッチをおこす現象を研究しています。日常表現に潜む比喩のしくみを発見する方法を学びます。

主要担当科目 日本語学概論、言語理論
研究内容 メンタル・スペース理論による、比喩表現を中心とした名詞句の意味論・語用論



発想の転換に出会えるのが、
大学で学ぶことの醍醐味

深澤 愛 准教授

日本語の歴史で大きな転換点となる明治期の言語現象を研究しています。いつも使っている言語を見つめ直す、発見がたくさんありますよ。

主要担当科目 言語理論、日本語史論
研究内容 明治期を中心とした、文字・書記や文体の歴史



私たちが生きる世界と
「性」の関わりを、
文学から振り返る

泉谷 瞬 講師

現代文学をジェンダーの観点から読みかえる研究を行っています。文学テキストは、私たちが「当たり前」だと思っている事柄を疑うための機会を提供してくれるはずです。

主要担当科目 近代表現史論、文学のジャンル1
研究内容 近現代日本文学とジェンダー理論

※教員組織は2023年度のもので、2024年度は変更になる場合があります。

卒業論文紹介

創作・評論 コース

- 「ルッキズム」考察—ルッキズム時代をどう生きるのか—
- 「シシュボス神話」の罰についての考察—V・カーストの論を参照して—
- 『オール・ユー・ニード・イズ・キル』比較分析—フェミニズムで見る日米戦闘ヒロイン—
- 創作 脚ノート(副論文 なぜそのフェティッシュを選択したのか—フロイト理論とバタイユ理論の融合)
- 創作 青い風と扉(副論文 「限りなく透明に近いブルー」から始まる70年代若者文化と今)
- 創作 アイスティーの氷は戻らない(副論文 純文学と大衆文学の狭間)

言語・文学 コース

- 古典作品から見るトランスジェンダー
- 江戸時代における『百人一首』の受容について—『江戸名所百人一首』を中心として—
- 現代ファンタジーの教育効果—上橋菜穂子と荻原規子の諸作品を題材に—
- 梶井基次郎『檸檬』論—没後評価の理由—
- 化粧品色彩ネーミングから見る日本の色彩イメージと比喩
- 関西若年層における禁止の丁寧体アキマセンの使用と標準語形タメテスの普及

文学科 英語英米文学専攻



加藤さんの時間割(1年次)

時限	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1					
2	中国語総合1	American Fiction Studies A	TOEIC Advanced A		Practical English (R) I A
3	Speaking I A	基礎ゼミ	Listening I A		Practical English (L) I A
4	暮らしのなかの憲法		English Linguistics A		Literary Translation I A
5			コンピュータ実習		Reading A

加藤 浩樹 さん(右) 英語英米文学専攻[4年]
大阪府・近畿大学泉州高校出身

少人数制の授業で語学力を高め、海外文学・文化への理解を深める

英語英米文学専攻では1年生から少人数制の授業が数多く開講されており、学生は複数の教員からそれぞれの専門性を生かした学問上の手ほどきを受けつつ、効率的に語学力を向上させることができます。1年次前期の履修科目である「基礎ゼミ」では専門分野の導入となる比較的簡単な英文を精読・分析しながら、大学でのレポートや英語論文の書き方の基礎を学んでいます。基礎ゼミで修得した知識をもとに、1年次後期の履修科目である“Tutorial I”ではさまざまな英語のテキストを読みこなし、明晰な文章で自己表現を行う訓練を積みます。これにより、社会に出てからも役立つ論理的思考能力・伝達能力も身につけます。そして3年生になると、自身の興味・関心のある分野のゼミに所属し、専門知識を深めていきます。卒業論文に向けて学生は自由に研究テーマを選択し、それについてのリサーチを重ねます。ゼミの指導教員が学生と話し、そして楽しみながら各学生を手厚く指導し、4年生の冬には卒業論文を完成させます。卒業論文は英語で執筆しますが、そのためには海外の論文を幅広く読み、世界における研究動向を的確に把握する力が必要です。ゼミと並行して履修する科目である“Reading Academic English”では、ゼミで学習する内容に沿った形で、学術論文や批評書を読解する力を養い、卒

業論文をよりすぐれた英語、より厚みのある論理で書けるよう指導します。こういった学問的訓練と並行して、1年生からTOEICなどの検定試験対策によって実践的スキルを磨く機会も充実しており、2年生からは海外での語学研修・インターンシップの機会も幅広く提供し、留学に対する支援も充実しています。このように本専攻では、少人数制の授業、語学スキルの向上、留学支援、卒業論文の作成などに力をいれ、今日のグローバルな社会が抱えている諸問題に取り組むことのできる国際感覚や思考力を備えた人材の育成をめざしています。

海外文学を深く研究し、作品の本質に迫る

加藤 浩樹さん

英語主体の学びには不安もありましたが、少人数教育で丁寧に指導していただけるので、すぐに慣れることができました。授業では、ヘミングウェイの文学は、行間に伝えたいことが隠されているということを知り、深く知っていくほどに面白さを感じています。また、作品が書かれた時代背景や作家の生い立ち、その生き方まで研究することで、さらに文学の面白さが広がっています。

取得可能な資格

■ 中学校・高等学校教諭一種(英語) ■ 司書 ■ 学芸員 など

学びのポイント

POINT
1

チュートリアルやゼミ方式による少人数、個別指導

少人数で外国語文学を学ぶことにより、時代を生きる思考力を育てます。

POINT
2

充実した留学プラン

豊富な留学制度を設けることにより、時代の変化に即応する人間力を育てます。

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により変更または中止になる場合があります。

POINT
3

最短距離で語学検定試験にチャレンジ

効果的なカリキュラムにより、卒業後に社会から評価される各種語学検定試験対策が万全です。

カリキュラム

異国の言葉、文化を理解することで国際社会への発信&受信能力を身につける

英米の文学研究を軸に、異文化を理解し、共存する精神を養成します。高度な英語コミュニケーション能力習得のために、日本語力の強化も重視。自らの考えを表現する力、伝達する力を磨きます。多くの授業が英語で行われますので、

英語力も自然に身につきます。国際社会で自己実現できる人材を育成し、英語教員、客室乗務員、旅行会社勤務など語学と国際感覚を生かした分野での活躍をめざします。

1年次	2年次	3年次	4年次
Speaking I Listening I Tutorial I Reading and Writing American Literary History Children'S Literature PICK UP! 1 Anglo Fiction Studies American Fiction Studies Literary Translation I English Linguistics Global Issues and Literature Film and Literature PICK UP! 2 Practical English TOEIC Advanced	Presentation Skills Speaking II Listening II Basic Academic Writing Tutorial II English Literary History Comparative Literature Medieval English Literature English Education Literary Translation II	English Communication I Academic Writing Seminar I Reading Academic English I Drama Studies Poetry Studies Culture and Literature Early Childhood English Education	Seminar II Reading Academic English II Graduate Study

※カリキュラムは2023年度のもので、2024年度は変更になる場合があります。

PICK UP! 1

Children's Literature

英語圏児童文学を学ぶ授業

ハリー・ポッター シリーズはあまりに有名になりましたが、英米文学には長く、豊かな児童文学の歴史があります。多くの作品に楽しく触れるために、必要な知識を得る授業が準備されています。

PICK UP! 2

Film and Literature

映画を通して英米文化に精通

映像化された古典文学作品等を鑑賞。英米文学や文化への興味、理解を深めます。また、登場人物の織りなす人間模様をあらゆる角度から探り、映画文学が提示する多様な問題を考察していきます。

教員紹介



英語とその文化的発達を知り、
遙か遠い時代の
他文化世界を身近に感じる

リチャード ジョセフ ケリー
Richard Joseph Kelly 教授

国際言語としての英語の社会言語学的発達や、中世英文学のキリスト教的テーマ、スウィフトの著作における人権問題について探求してください。

主要担当科目	Seminar I・II、Medieval English Literature
研究内容	英語の起源と発達、聖書と英文学、 ジョナサン・スウィフトと人権



海の向こうに憧れを持とう！

辻 和彦 教授

19世紀アメリカ文学の古典研究に加え、19～20世紀のアメリカ文化についてもりサーチ。興味あることに突き進めば、それは必ず楽しくなります。

主要担当科目	American Fiction Studies AB
研究内容	19世紀、20世紀アメリカ文学／文化



調査能力、思考能力、
表現能力は、
一生古びることはありません。

藤澤 博康 教授

在学中はみずから本を手に取り、自分の頭で考え、自分なりの考えをわかりやすい英語と日本語で表現できる学生を育てたいと思い、日々、学生と接しています。

主要担当科目	Poetry Studies AB、Comparative Literature AB
研究内容	シェイクスピアを中心とする、16、17世紀イギリス文学・文化



「学ぶこと」と「教えること」の
両面から英語を探究する

藤永 史尚 准教授

英語を外国語として使うとはどういうことなのか、それはどのようにに学習・指導すれば良いのか。外国語教育という観点から、英語の諸側面について考えていきましょう。

主要担当科目	Seminar I・II、English Education
研究内容	英語教育



グローバルな時代だからこそ、
文学的想像力を

松本 ユキ 准教授

アジア系アメリカ人による文学作品や文化実践を、階級、人種、ジェンダーなどさまざまな視点から考察していきましょう。

主要担当科目	Seminar I・II、Global Issues and Literature
研究内容	アジア系アメリカ文学



批評する感性と
主体性を大切に

大山 美代 講師

近代イギリス小説における階級的、地理的な移動と、身体／情動との関わりを研究しています。自分らしい視点を持って作品を批評する力を磨きましょう。

主要担当科目	Seminar I、Anglo Fiction Studies AB
研究内容	近代イギリス文学、モダニズム、D・H・ロレンス

※教員組織は2023年度のもので、2024年度は変更になる場合があります。

卒業論文紹介

- Body and Medical Discourses in Shakespeare's Plays
- Unfolding *Mary Poppins* against its Disney Mythology
- Inductive and Deductive Grammar Teaching for Japanese Learners of English
- The Use of Colors in Oscar Wilde's Fairy Tales
- Learning Motivation for Reading in Japanese EFL Classroom
- Identity Conflicts in John Okada's *No-No Boy*
- An Analysis of Pooh's Socializing Strategies
- Grammar Activities for Fostering Basic Communication Skills in Japanese Junior High School Classes
- A Comparison of Lafcadio Hearn's "Yuki-Onna" with John Keats's "La Belle Dame sans Merci"

- Huck and Jim's Quest for Freedom in the Context of the Age's Racial Discrimination
- A Critical Study of Victorian London with Reference to *Oliver Twist* by Charles Dickens
- The Dramatic Effects of Silence in Shakespeare's Works
- Becoming a Japanese-American Woman: An Analysis of Cynthia Kadohata's *The Floating World*
- Social and Literary Themes in Jonathan Swift's *Gulliver's Travels*
- The World of London as Sherlock Holmes Sees It
- Human Rights with Regards to Slavery and Child Labour
- Two Sides of America: Mark Twain and Charles Dickens

PICK UP SEMINAR

松本 ユキゼミ

文学から世界を読む



松本 ユキ 准教授

国際問題や異国の文化を英語作品から解釈する

国際問題や海外から見た日本人のイメージなどを、英語文学作品を通して学んでいます。主にアジア系アメリカ人やアフリカ系アメリカ人、LGBTなどに関する作品を読み、異国の文化や歴史を学んでいます。グローバル社会を生きる私たちに必要な知識を、英文を通して理解を深められることは、自分の糧にもなります。時には読み進めることが難しい作品に出会うこともあります。ゼミのみんなと協力し苦労の上、読み解けたときには達成感を感じます。将来は、学部を通して培った英語力を生かして国内外問わずさまざまな人とコミュニケーションが取れる職業に就きたいと考えているので、ゼミで学んだ異国の文化や歴史、国際問題についての知識を役立てたいと思っています。



木村 広大 さん [4年]
広島県・広島国際学院高校出身





勝山さんの時間割(1年次)

時間	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1	イタリア語総合1		基礎ゼミ		
2	生涯スポーツ1	舞台技術基礎実習Ⅰ1	パフォーマンス研究A		
3	舞踊表現基礎実習ⅠA	舞台技術基礎実習Ⅰ2			身体と発声A
4	日本芸能概論A		舞台表現基礎実習A		
5			コンピュータ実習1	日本史概説	演劇概論
オンデマンド(動画配信)		英語1A／英語1B／オーラルイングリッシュ1／身体論			

勝山 花音 さん 舞台芸術専攻[2年]
兵庫県立宝塚高校出身

総合的に舞台芸術を探究し、内に秘めた可能性を開花させる

演技・演出・舞踊・戯曲創作・コミュニケーション・教育・企画・批評・研究。舞台芸術の何を学びたいのか。入学後、実際に学びながら進む方向を決めていくのが本専攻です。舞台芸術は人間が素材の総合芸術。人間と人間にかかわるすべてのことから学びます。哲学・文学・言語・歴史・美術など他学科・専攻開講科目※が履修できるのも魅力。専門的な演劇・舞踊教育の場として、有能な演劇人・人材を多数輩出しています。

※他学科・専攻開講科目は指定された科目のみとなります。

舞台芸術の知識や経験の引き出しが増える喜び

勝山 花音 さん

幼い頃からバレエを習い、オーケストラにも所属していたため舞台芸術に触れる機会が多くありました。高校は演劇科に進学。表現することを学習していく中で、舞台芸術についてより一層探究したいと思い、総合的に舞台芸術を学ぶことができるこの学科・専攻に魅力を感じ志望しました。舞踊創作実習公演の授業では、曲の制作や振付け、衣装作りを通して仲間と舞台を創り上げることの素晴らしさや、切磋琢磨し合いながらお互いを尊重し、一つの舞台作品を創り上げることにやりがいを感じました。将来は、日本だけでなく世界中の舞台芸術に関わり、その魅力を存分に味わえる仕事に携わりたいと考えています。

取得可能な資格

■ 中学校・高等学校教諭一種(国語) ■ 司書 ■ 学芸員 など

学びのポイント

POINT 1

少人数による教育で、教員と学生、学生同士のコミュニケーションを深められる

POINT 2

自分の関心に合わせて、自由に科目が選択できる

POINT 3

理論と実践の両面から自分のテーマが追求できる

POINT 4

やる気さえあれば、表現(発表)の機会がいくつでも得られる

POINT 5

プロから直接、学べる

POINT 6

学年を超えた学生間のタテのつながりが深い

カリキュラム

プロに必要な創造力と教養をオーダーメイドの「系カリキュラム」で学習

舞台芸術専攻のカリキュラムの特色は「系カリキュラム」。舞台芸術をどんな角度から学ぶのか、学びの中心となる「系」を定めて学習します。2016年度からは4つの「系」が設けられ、1年次では専攻共通科目で舞台芸術の基礎を学び、2年次からは志望する進路や興味に合わせて学びの中心となる「系」を定め、各自がオーダーメイドのカリキュラムを組み立てて体系的に学習します。「系」

のコア科目となっている「演習」「研究」で、クリエイトの現場に必要な専門的な知識と創造力を実践的に身につけます。総合芸術である舞台芸術を学ぶことが、コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力を向上させます。また、国語科の教員免許が取得できます。

	1年次	2年次	3年次	4年次
専攻共通科目	演劇概論 身体と発声 舞台表現基礎実習Ⅰ 舞踊表現基礎実習Ⅰ パフォーマンス研究 戯曲の読み方 戯曲創作研究Ⅰ 日本芸能概論 アーツマネージメント論 文章表現 文章創作 舞台技術基礎実習Ⅰ・Ⅱ 舞台芸術特別実習Ⅰ 舞台芸術特別演習Ⅰ 舞台芸術特論Ⅰ	戯曲論 世界舞踊史 世界映画史 舞台照明実習 舞台美術実習1・2 音響効果実習 映像表現実習 伝統芸能実習Ⅰ・Ⅱ 音楽実習Ⅰ 舞台芸術特別実習Ⅱ 舞台芸術特別演習Ⅱ 舞台芸術特論Ⅱ	世界演劇史 日本演劇史 演劇教育演習 映像表現演習 舞台美術実習3・4 音楽実習Ⅱ 舞台芸術特別実習Ⅲ 舞台芸術特別演習Ⅲ 舞台芸術特論Ⅲ	舞台芸術特別実習Ⅳ 舞台芸術特論Ⅳ
演劇創作系		演劇創作実習1・2・3 演出・演技論 PICK UP! 1	演劇創作演習1・2・3	卒業研究Ⅰ 演劇卒業公演
舞踊創作系		舞踊創作実習1・2 舞踊表現基礎実習Ⅱ 身体表現実習	舞踊創作演習1・2 身体表現演習 舞踊表現演習	卒業研究Ⅱ 舞踊卒業公演
戯曲創作系		戯曲創作研究2	戯曲創作研究3	卒業研究Ⅲ 卒業戯曲創作
TOP系		日本作家作品論 舞台芸術批評論 伝統芸能作品研究	TOP論 PICK UP! 2 アカデミック・ライティング 戯曲分析研究 舞台芸術研究 演劇芸能研究	卒業研究Ⅳ 卒業論文

※科目は一部抜粋です。

※カリキュラムは2023年度のもので、2024年度は変更になる場合があります。

PICK UP SEMINAR

笠井 友仁 ゼミ

演劇にかかわることが、 なんでも学べる



笠井 友仁 講師

演技、スタッフワーク、演出を実践的に学ぶ

3年生を対象とした演劇創作演習は演劇作品の上演をめざした授業です。受講生は、出演者として「演技」を学ぶとともに、照明、音響、衣装、舞台美術、広報宣伝など、「スタッフワーク」も経験することができます。わたしの授業では、全ての受講生が出演者とスタッフを兼ね、遅い時間まで稽古を行い、公演の直前まで丁寧な準備をしていました。また、どのような演劇作品を創作して上演するか、作品の方向性を考えることに高い関心を持った受講生が集まった演出部では、わたしとともに「台本の読解」や「演出プランの作成」を行い、演出活動にも挑戦しました。このように非常に実践的な授業であり、演劇にかかわることが、なんでも学べます。

舞台芸術に関する知識・技術をリアルに学ぶことができる環境です

受講生が1つのチームとなり、題材の決定から配役、プロモーションなど舞台創りにおける全てのパートを全員で協力し合いながら担い、演劇を創り上げる授業です。演技や表現方法を学ぶだけでなく、舞台創りの基礎から応用までを実践的に学び習得するので、視野も広がります。より良い作品にしたいと言う思いからディスカッションすることも多く、一人ひとりが作品への理解を深め合いながら完成させるので団結力も生まれ、やっとの思いで上演できた時は胸がいっぱいになります。決して一人で創れない演劇は、さまざまな力を与えてくれます。



榮 花音 さん[3年]
兵庫県立尼崎小田高校出身

専門領域

演劇創作系

演劇の舞台を創る



舞台芸術を「演劇の舞台を創る」ことを中心にすえて学びます。コア科目の実習・演習授業を主軸に、総合芸術である演劇を、演技・演出から照明・音響・舞台美術・制作・舞台監督まで、広く実践的に習得、発表公演の舞台創造に結集させます。日本の演劇界の第一線で活躍するプロフェッショナルが教員として指導。演劇の舞台を創るのに必要な感性、知性、忍耐力、表現力、実行力、コミュニケーション能力を高め、舞台を創り上げる力を身につけることが「演劇創作系」の学びの核心です。演劇の力を発揮できる芸術家、演劇の力を社会の中で生かすリーダーをめざします。

将来の活躍分野

俳優、演出家、照明家、音響家、舞台美術家、舞台監督、ワークショップのファシリテーター、教員 など

戯曲創作系

戯曲作品を創る



舞台芸術を「戯曲を書く」ことを中心にすえて学びます。演劇は演じる人、観る人、学ぶ人に、人間に対する深い理解と共感を体感させます。そんな演劇の上演に必要なのが台詞と書きで書かれた戯曲。その戯曲を書く力を身につけることが「戯曲創作系」の学びの核心です。専門科目で演劇を広く深く学びつつ人間を見つめ、コア科目の授業で演劇に組み立てていく力を身につけ、戯曲を創作します。作品は卒業演劇公演で上演されることも。劇作家として日本の第一線で活躍するプロフェッショナルが教員として指導。言葉の芸術家、演劇の力を社会の中で生かすリーダーをめざします。

将来の活躍分野

劇作家、演出家、シナリオライター、放送作家、ワークショップのファシリテーター、教員 など

舞踊創作系

舞踊の作品を創る



舞台芸術を「舞踊の作品を創る」ことを中心にすえて学びます。コア科目の実習・演習授業を主軸に、踊ってみることからテクニックの習得、振付、作品創り、そして公演制作まで広く実践的に学び、一人ひとりが自分の舞踊作品を創作します。日本のコンテンポラリー舞踊の第一線で活躍するプロフェッショナルが教員として指導。舞踊の舞台を創るのに必要な感性、知性、忍耐力、運動能力、表現力、コミュニケーション能力を高め、作品を創り上げる力を身につけることが「舞踊創作系」の学びの核心です。舞踊を創造する力を持つ芸術家、舞踊を社会の中で生かすリーダーをめざします。

将来の活躍分野

ダンサー、コレオグラファー（振付家）、照明家、音響家、舞台監督、ワークショップのファシリテーター、教員 など

TOP (Theatre Organization Planning) 系

舞台芸術をプロデュースする



舞台芸術を「企画／批評／研究する」という角度から追究することを学びます。優れた舞台芸術を生み出すためには、深い専門知識、時代をつかみ取る教養、実践力を身につけた優れた企画者（プロデューサー・オーガナイザー）、批評家、研究者が不可欠です。舞台芸術の専門科目はもとより、他学科・他専攻の開放科目や単位互換科目で積極的に学び、コア科目の授業でプレゼンテーションを行い、発信します。自ら企画／批評／研究を行い、発信する力を身につけることが「TOP系」の学びの核心です。文字通り、舞台芸術の世界をリードするTOPをめざします。

将来の活躍分野

プロデューサー、ドラマツルック、制作者、批評家、研究者、教員 など

教員紹介



日本の伝統芸能が
現代劇であった姿を探る

林 公子 教授

江戸時代に歌舞伎が実際にどのような場所でのように上演されていたかを研究。専門的に深く学ぶことによって、考える力を養おう。

主要担当科目 日本演劇史、伝統芸能作品研究
研究内容 近世における歌舞伎の社会的環境



芸術は、より良い社会の構築に
貢献できるでしょうか

阪本 洋三 教授

舞台芸術と芸術教育が、どうすればより良い民主主義社会の深化と発展に貢献できるか、みなさんとともに考えていきたいと思っています。

主要担当科目 世界舞踊史、舞踊創作実習
研究内容 舞台と映像芸術の演出と制作、民主主義社会における芸術



学生の創作意欲を培養して、
クリエイターを生み出す

盛 加代子 教授

なにげない人の行動や世間の動きの原因・発端・理由を調査して発展を想像し、創作劇を創る方法を解明。新しい自分を発見しませんか。

主要担当科目 身体と発声、舞台芸術特別実習Ⅰ
研究内容 演劇と地域社会とのつながり



演出家・劇作家として、
非日常的な空間の中で
人間の関係性や
あり方を問い直す

水沼 健 教授

劇作家、演出家、俳優として舞台芸術に関わっています。演劇創作で人物を演じることや、戯曲を作り表現することを通して、一緒に他者の言葉や行動への洞察、社会に対する認識を深めていきましょう。

主要担当科目 演劇創作演習、戯曲創作研究
研究内容 演劇創作、戯曲創作



共に作品をつくりあげることで、
見えてくることを共有する

矢内原 美邦 教授

振付家、戯曲作家です。さまざまな角度から表現の方法を探っていき、共にひとつの作品をつくりあげ、最後までやりぬいたものにしか見えない風景を共に見たいと思います。

主要担当科目 舞踊創作実習、戯曲創作研究
研究内容 舞踊創作、戯曲創作、身体と言葉の関係



“はてな”を大切に、
作品に刻まれた
思考の跡を楽しもう

梅山 いつき 准教授

政治の風が吹き荒れた1960年代。現代演劇は大きな転換点を迎えました。作品分析を通して、舞台人たちのクリエイティブジャンプに迫ります。

主要担当科目 日本作家作品論、世界演劇史
研究内容 60年代演劇

※教員組織は2023年度のものです。2024年度は変更になる場合があります。

近畿大学舞台芸術専攻
YouTubeチャンネルにて公開

感性を磨き、
表現力を伸ばそう。
物語との出会いが、ひとを育む。

笠井 友仁 講師

古典戯曲や国内外の現代戯曲の演出をしています。さまざまな物語を題材にした演劇創作を通じて、他者と自己の違いや社会の課題に気づく「感性」を磨きましよう。

主要担当科目 演出・演技論、演劇創作実習
研究内容 古典戯曲を題材にした作品の演出、海外の現代戯曲の演出

学びのフィールド

主な受賞

- 「720アワード@pamo2006」(舞踊) グランプリ：「world」浅野 泰生さん(2001年卒業)
- 「第7回CO2映画祭」グランプリ：「適切な距離」大江 崇允さん(2003年卒業)
- 「第4回仙台劇のまち戯曲賞」佳作：「方舟・ARK」金池 晴香さん(2008年卒業)
- 「コネクト 2009」(舞踊) 優秀賞：「RENGA」太田 翔子さん(2005年卒業)、斎藤 圭祐さん(2005年卒業)
- 「『日本の劇』戯曲賞2013」最優秀賞：「まっしゅ・ほーる」芝原 里佳さん(2013年卒業)
- 「第19回劇作家協会新人戯曲賞」大賞：「クラッシュ・ワルツ」塚田 泰一郎(刈馬カオス)さん(2000年卒業)
- 「サウサンプトン国際映画祭 最優秀外国語映画賞」
「ReelHeART国際映画and脚本祭 ReelHeARTスピリット賞」受賞：「Summer Time」札内 幸太さん(2007年卒業)
- 「第69回文化庁芸術祭(演劇部門ー関西参加公演の部)」新人賞：「『アラビアの夜』の演出」笠井 友仁さん(2001年卒業)
- 「ウィングカップ5 最優秀賞」受賞：「プロトテアトル『ノクターン』」FOペレイラ 宏一朗さん(2015年卒業)
- 「UGU映画祭2015 最優秀外国映画賞」受賞：「手のひらに太陽を」(主演)札内 幸太さん(2007年卒業)
- 「サンモールスタジオ選定賞2015」最優秀脚本賞：「川辺市子のために」戸田 彬弘さん(2006年卒業)
- 「新人監督映画祭2015」準グランプリ：「ねこにみかん」戸田 彬弘さん(2006年卒業)
- 「第23回OMS戯曲賞」2016年度大賞：「悪い癖」福谷 圭祐さん(2013年卒業)
- 「第54回なにわ芸術祭 ― 新進舞踊家競演会」新人奨励賞：下原 裕治(花柳 仁司郎)さん(2010年卒業)
- 「2018 大阪フリンジフェスティバルアワード」一心寺シアター倶楽 館長賞：山中 良介さん(2019年卒業)
- 「横浜ダンスコレクション2019コンベンション1」審査員賞(グランプリ)、
ポロシス賞(フランス国立ダンスセンターより特別賞)受賞：下村 唯さん(2009年卒業)
- 「令和2年度 咲くやこの花賞」演劇・舞踊部門受賞：笠井 友仁さん(2001年卒業)
- 「第74回カンヌ国際映画祭」脚本賞：「ドライブ・マイ・カー」大江 崇允さん(2004年卒業)、濱口 竜介氏との共同脚本
- 「一般社団法人日本放送作家協会、NHK共催・第49回創作ラジオドラマ大賞」大賞：「手を振る仕事」足立 聡さん(2001年卒業)
- 「日本脚本家連盟主催・第55回放送脚本新人賞」寺島アキ子記念奨励賞：「瞳の先に」細田 拓海さん(2019年卒業)
- 「第76回文化庁芸術祭賞(演劇部門) 優秀賞」受賞：「マクベス 釜と剣」笠井 友仁さん、高安 美帆さん(共に2001年卒業)

第31期生卒業公演

演技・創作系（舞踊）

卒業舞踊公演「ゲルニカ」



演技・創作系（演劇）

卒業演劇公演「天保十二年のシェイクスピア」



授業実習公演

舞台芸術専攻では、4年間の学びの集大成としての卒業公演をはじめとした、各学年の実習授業の発表公演を行います。さらに自主企画公演など、活発に舞台公演を行っています。



芸術学科 造形芸術専攻

岡田さんの時間割（1年次）

時間	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1	中国語総合1	生涯スポーツ1	デッサン基礎演習Ⅰ	英語1B	
2	英語1A		デッサン基礎演習Ⅰ	西洋美術史A	
3	日本美術史A	基礎ゼミ		オーラル イングリッシュ1	デザイン概論A
4	国際化と 異文化理解				
5					



岡田 真理子 さん 造形芸術専攻[4年]
兵庫県立川西北陵高校出身

独自のカリキュラムで知識を深め、人間形成を通して芸術的創造性を磨く

創造することが好きな人から芸術作品に興味がある人まで、幅広く受け入れています。ゼミナール選択制を導入し、豊富な選択肢から興味のあるものを探していきます。表現技術の向上はもちろん、表現に必要な思考力や発想力、作品を観る眼も育成。自分の研究対象を掘り下げることでオリジナリティーを追求していきます。

全力で学べるカリキュラムや設備が充実！

岡田 真理子さん

この学科の魅力は、デッサンに自信がなくても学力試験で挑むことができ、学びたいという気持ちと姿勢があれば誰でも芸術を学ぶ機会が設けられているところです。また、自分の学びたい分野を選べる環境や充実した設備が整っているので全力で勉学に打ち込むことができ、知識や技術を深めながら個性を伸ばすことができます。ゼミナールでは版画表現における作品制作に積極的に取り組み、教職課程も受講しています。将来は大学で得た学びを生かし、芸術を通して豊かな学びを実現できるような美術教員をめざしています。

取得可能な資格

■ 中学校教諭一種（美術） ■ 高等学校教諭一種（美術・工芸） ■ 司書 ■ 学芸員 など

学びのポイント

POINT 1

多種多様な人材交流

美術だけではなく、「文学から医学まで」の総合大学ならではのジャンルを超えた友人との交流が図れます。

POINT 2

一流のプロによる指導

第一線で活躍する造形作家、工芸作家、デザイナー、美術史研究者などが、時代に即した実践的な指導を行います。

POINT 3

1年次からの複数ゼミ選択制

さまざまな表現方法の分野を同時に体験しながら、自分に最も合った表現を見つけていくことができます。

カリキュラム

専門的な力を持つ造形作家、工芸作家、デザイナー、研究者、美術家、教員になる

少人数ゼミナール制で専門的知識・技術・発想力を高め、社会で活躍できる人材になる

造形芸術専攻は、少人数ゼミナール制で専門的知識・技術・発想力を高めることを軸にしています。「感じる・考える・創り出す」を繰り返し、自分だけの発見・表現を見つけていきます。それに加え「ゼミナール選択制」により幅広い能力を

強化します。総合大学ならではのメリットを生かした受講体制で豊かな感性を育みます。その他、教員免許・図書館司書・学芸員資格取得のためのカリキュラムを併設しています。

1年次	2年次	3年次	4年次
ゼミナールⅠ 作品鑑賞 PICK UP! 1 デッサン基礎演習 平面基礎演習 立体基礎演習 日本美術史 西洋美術史 現代美術論 デザイン概論 デザイン製図 色彩学	ゼミナールⅡ コンピュータグラフィックス演習Ⅰ 彫塑 思想と表現(東洋) 思想と表現(西洋) アジア美術史 工芸史 素材と表現Ⅰ 素材と表現Ⅱ 素材と表現Ⅲ 素材と表現Ⅳ 陶芸論 ガラス造形論 イラストレーション論 日本彫刻史論 絵画論 立体造形論 染織論 版画論 グラフィックアート論 造形特別プログラムⅠ 造形プロジェクト演習Ⅰ PICK UP! 2	ゼミナールⅢ コンピュータグラフィックス演習Ⅱ 造形特別プログラムⅡ 造形プロジェクト演習Ⅱ 美術研究Ⅰ 美術研究Ⅱ	ゼミナールⅣ 卒業制作・卒業論文

※カリキュラムは2023年度のもので、2024年度は変更になる場合があります。

PICK UP! 1

作品鑑賞

さまざまな視点から芸術の「みかた」を学ぶ

「鑑賞」という言葉の目的は、作品を「観る」だけでなく「良さを味わい理解すること」にあります。9人の専任教員のリレー形式で行われるこの授業では、それぞれの専門領域の作品を題材にし、素材や技法、コンセプトや背景など、作品を取り巻く要素を紹介するとともに、専門家ならではの視点で作品に迫っていきます。

PICK UP! 2

造形プロジェクト演習Ⅰ

社会とつながる実践的なアートワーク

これまで「万博公園アート化プロジェクト」や「近畿大学水産研究所で使われる器制作」といったプログラムを実施するなど、実際に社会と連携して自身の表現や作品を生かす場を設けてきました。ただ「作品をつくる」だけでなく、「社会に発信する、社会とつながる」ことを体験し、そこから自身と表現の関係性を探っていきます。

PICK UP SEMINAR



立体造形ゼミ

現実空間に想像を
実在させる

佐藤 好彦 准教授

素材との対話、人との対話、
そして自分との対話

私たちは立体空間に存在し日々暮らしています。立体造形といってもプロダクトからアートまでさまざまなものがあります。私のゼミでは彫刻の技法を通して立体的な観察力を養い、粘土・木・金属・樹脂といった素材に触れ、自らの想いをかたちにします。また「どうやって作るのか」だけでなく「何を作るのか、なぜ作るのか」という問いと向き合いながら、日常の考察とさまざまな対話を通して制作の核となるテーマを見つけ出してゆきます。



イラストアートゼミ

イラストレーションは
コミュニケーション

谷田 良子 講師

イラストレーションの役割を知り、
独自性という価値を発見する

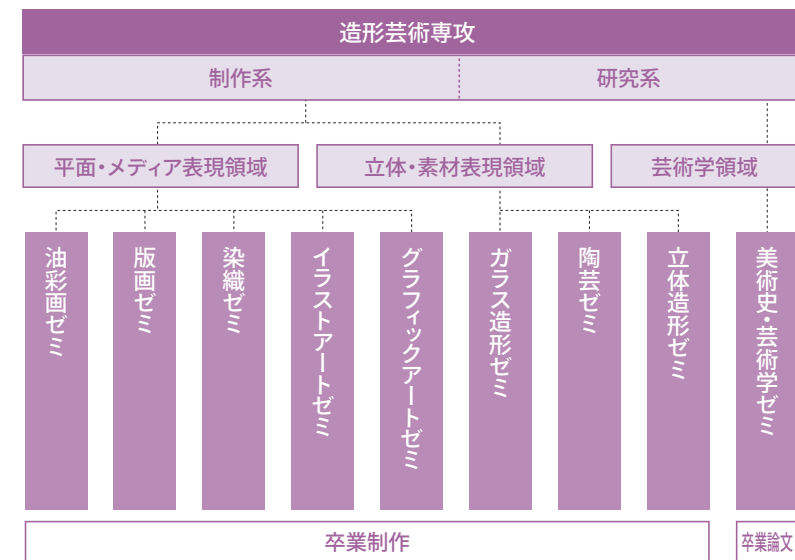
イラストレーションには幅広い表現があります。技法も絵柄も多岐にわたり、さらにはイラストレーションが使われる媒体も、イラストレーターの働き方も多様です。このように幅広い可能性の中から、自分独自のイラストレーションを発見することは意外と難しいものです。イラストレーションはデザインと同様に「何かを伝達する」という役割がありますので、この役割を念頭におきながら、イラストレーターとして自分は何をしたいのか、何をどのように描きたいのかという根本を明らかにし、試行錯誤しながら独自のスタイルを模索していきます。



ゼミ編成

造形ゼミナール選択制

さまざまなゼミを経験して自分の適性を探っていく「ゼミナール選択制」を採用しています。1年次では3つの領域9ゼミから4ゼミを選択し、学年が進むに従って2年次では2ゼミ、3年次以降は1ゼミに絞り込み、専門的な知識・技術を深めていきます。入学時に、進みたい方向や表現方法が絞られていない場合も、多様な分野の実技を体験することで研究対象に出会えます。また、芸術学領域のゼミで、実技中心に学ぶ学生でも研究の方法・論文を書く力が身につきます。



造形プロジェクト演習群

社会で必要とされているコミュニケーション能力やマネジメント能力をつけるための実習・講義を行い、幅広い知識を身につけます。

造形特別プログラム群

幅広い知識が必要な一方、ゼミならではの深い専門知識・技術も必要です。このプログラムは、各ゼミに設けられています。

造形基礎演習群

各自の造形・デザイン感覚に磨きをかけ、美的センスを鍛錬し、造形活動に必要な思考力や柔軟性、創造性を育むプログラム編成を行っています。

ゼミナール選択制

1 年次

3つの領域9ゼミから4ゼミを選択し、基本的な技術・知識を身につけます。

2 年次

2つのゼミを選択し、専門的な知識を高め技術を磨きます。

3・4 年次

1つのゼミに絞り、より深く探究し、完成度の高い卒業制作・卒業論文に結びつけます。



教員紹介



発見の喜び、体験の蓄積を
クリエイティブにつなげる

岩岡 浩二 教授

石膏像、静物、風景、人物などのデッサンを通し、描写力、観察力を強化し、タブロー制作につなげます。同じモチーフでも個性の違いから、作品として生まれ出るものは異なります。発見の喜び、体験を糧に、自分だけの絵画を追究します。

主要担当科目	ゼミナールⅠ～Ⅳ、絵画論
研究内容	具象絵画における構図法の研究



基礎から学び、独自の
陶芸セオリーを見つける

上田 順康 教授

陶芸は一日にできるものではありません。粘土の選択・成形・装飾・焼成等の一連の作業を何度も繰り返すことで技術を体得し、そこから自分の表現を見つけることができるようになります。誰も見たことがない未知の美をつくりましょう。

主要担当科目	ゼミナールⅠ～Ⅳ、陶芸論
研究内容	自分の内にある原始的宗教観を表現



素材と対話しながら
自分だけのカタチを見つけ出す

佐藤 好彦 准教授

さまざまな素材や道具に直接触れ、切る・削る・曲げる・繋ぐ・接ぐ、といった技術を通して立体表現の可能性を探ります。そして既成概念に囚われない発想とともに、「何をつくるか」「何故つくるか」といった制作行為の核心に近づきながら、自らの理想のイメージを現実空間に表現します。

主要担当科目	ゼミナールⅠ～Ⅳ、立体造形論
研究内容	デザインとアートの類似と相違に基づく立体表現の可能性



ガラス造形の魅力を知り
可能性を追究する

本村 元造 教授

ガラスを通して、自らの可能性を広げることをめざします。吹きガラスなどのホットワーク実習で基礎を学び、コールドワーク、バーナーワークなどを習得。さまざまな技法やガラスの特性を知り、オリジナリティーあふれる作品づくりに挑みます。

主要担当科目	ゼミナールⅠ～Ⅳ、ガラス造形論
研究内容	ガラス素材による造形からの展開と可能性の探究



デジタル時代のニーズをとらえる
グラフィックアート力を培う

安 起瑩 教授

人や時代が求めているものを表現する力がアートやデザインには必要です。本ゼミでは幅広い内容の表現を学習、感性やデジタルスキルを高めて、社会で実用性のある表現力を育成します。

主要担当科目	ゼミナールⅠ～Ⅳ、造形特別プログラムⅠ・Ⅱ、グラフィックアート論
研究内容	文字をモチーフとしたグラフィックアート表現



版表現を通して、
自分と社会の関係性を
創っていきける力を

野嶋 草 准教授

銅版画、木版画、シルクスクリーン、リトグラフなどの代表的な版画表現を軸に学び、技術と表現力を身につけ、現代的な展開を探索していきます。学びの中で、さまざまな技法や素材に触れ、表現する喜びと楽しさに気づき、可能性を模索し、独自の「版」表現を追求していきます。

主要担当科目	ゼミナールⅠ～Ⅳ、版画論、デッサン基礎演習
研究内容	版画における伝統技法と現代表現について



繊維造形の技法を習得し
自分なりの表現を探究

関口 千佳 教授

繊維の特性を理解し、古くからの伝統的技法をしっかりと身につけた上で、それを展開することが目標。基礎からフェルト、紙漉きなどの造形技法や、織り、装飾としての染色へ。繊維の多様性を知り、自分らしい表現を探っていきます。

主要担当科目	ゼミナールⅠ～Ⅳ、染織論
研究内容	腰機での織物制作、織物文化について



“見る”ことの経験値を上げて、
作品を読み解く楽しみを知る

松岡 久美子 准教授

目の前の作品は、なぜそのようにあらわされ、どのように人との関係をとり結んできたのでしょうか。美術史を切り口として人間や社会について考察を深め、客観的な分析と確かな知識に基づいた文を綴り、また他者と語り合えるようになることをめざします。

主要担当科目	ゼミナールⅠ～Ⅳ、思想と表現（東洋）、日本彫刻史論
研究内容	日本の平安時代から鎌倉時代を中心とした彫刻の研究



「上手さ」より
「良さ」を発見する

谷田 良子 講師

頑張れば誰にでも描ける「上手な絵」を越え、自分なりの「良さ」の発見に向けた制作を行います。そして、その作品がどのようなメディアで、どのように展開し、どのように受け取られていくのか、実践的に学びます。

主要担当科目	ゼミナールⅠ～Ⅳ、イラストレーション論、デッサン基礎演習
研究内容	イラストレーション表現の可能性の探究

※教員組織は2023年度のもので、2024年度は変更になる場合があります。

国際交流

造形芸術専攻では、定期的に海外の芸術大学とのアート交流を行ってきました。双方向に相手国を訪問し、共同ワークショップによる作品制作、学生宅でのホームステイ、エクスカッションなどを体験。参加学生たちは、異文化の壁を超えた友情を育いました。

交流校

- Ecole Nationale Supérieure des Arts Visuels
国立高等視覚芸術大学（ブリュッセル、ベルギー）
- University of the Arts（フィラデルフィア、U.S.A.）
- Arts au Carée 国立モンス芸術大学（ベルギー）
- 啓明大学（Keimyung Univ.／韓国）
- 東國大学（Dongguk Univ.／韓国）
- 華梵大学（HuaFan Univ.／台湾）
- 玄奘大学（Hsuan Chuang Univ.／台湾）
- Faculdade de Belas Artes da Universidade de Lisboa
リスボン大学芸術学部（ポルトガル）など

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により変更または中止になる場合があります。



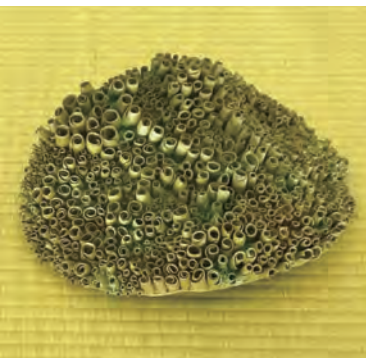
学びのフィールド

学内外での活動：展覧会、コンクール、受賞など

- 「2015年 第59回堺市展」奨励賞：満仲 智文さん（2015年卒業）
- 「第5回NBCメッシュテックシルクスクリーン国際版画ビエンナーレ展」入選：尾形 奈津希さん（2017年卒業）、津留 智也さん（2019年卒業）
- 「2016リベンスキーアワード（チェコ）」グランプリ受賞：勝川 夏樹さん（2014年卒業）
- 「うめきたフェスティバル2016、ガーデンアートストリート」オーディエンス賞：小牧 結花さん（2016年卒業）
- 「第92回国展」絵画部奨励賞：池永 朱里さん（2019年卒業）／絵画部入選：山崎 絢子さん（2019年卒業）
- 「シェル美術賞2018」入選：池田 舞花さん（2020年卒業）、宮原 寛さん（2020年卒業）
- 「シェル美術賞2019」新藤淳審査員賞：池田 舞花さん（2020年卒業）
- 「Liquitex THE CHALLENGE」入選：山田 菜月さん（2022年卒業）
- 「現代ガラス展山陽小野田2018」入選：小阪 史子さん（2021年卒業）、坪井 章応吾さん（2021年卒業）
- 「2019年 日・イラン外交関係樹立90周年」の公式ロゴマーク公募（外務省）最優秀賞：今井 雄斗さん（2021年卒業）
- 「第11回大野城まどかびあ版画ビエンナーレ」入選：津留 智也さん（2019年卒業）
- 「現代ガラス展山陽小野田2020」優秀賞：柚木崎 美優さん（2020年卒業）／審査員特別賞：村瀬 あずささん（2020年卒業）
- 「第31回美浜美術展」FBC福井放送賞：池田 舞花さん（2020年卒業）
- 「これから出る本 表紙イラスト2020」入選：玉城 流依さん（4年）
- 「令和2年度 第71回奈良県美術展覧会（工芸部門）」入選：出垣内 愛さん（2021年卒業）
- USA「Graphis Design Annual 2020」Gold award（金賞）：興水 彩香さん（2020年卒業）
- 「AAC2021（ART MEETS ARCHITECTURE COMPETITION）」入選：永岡 佳栄さん（2022年卒業）／今井 玲奈さん（2022年卒業）
- 「第32回美浜美術展2021」美浜町長賞：小沼 修平さん（3年）
- 「第8回NBCメッシュテックシルクスクリーン国際版画ビエンナーレ展」国際展賞：吉村 英里子さん（2015年卒業）
- 「第57回関西国展」新人賞：田實 夕夏さん（4年）
- 「第3回枕崎国際芸術賞展」U22賞：辻 龍生さん（4年）



「第3回枕崎国際芸術賞展」
U22賞：辻 龍生さん（4年）



「第71回奈良県美術展覧会」
入選：出垣内 愛さん（2021年卒業）



「AAC2021（ART MEETS ARCHITECTURE COMPETITION）」
入選：永岡 佳栄さん（2022年卒業）



「第8回NBCメッシュテックシルクスクリーン国際版画ビエンナーレ展」
国際展賞：吉村 英里子さん（2015年卒業）



「Graphis Design Annual 2020」
Gold award：興水 彩香さん（2020年卒業）

主な卒業制作展、作品展

情報処理教育棟（KUDOS）1～3階、A館2階展示スペースで学生作品の展示を行うほか、近畿大学病院や学外ギャラリーなどでも学生が自主的に作品展を開催。各公募展、コンクール展での在学生、卒業生の入選、入賞者も数多く出ています。



卒業制作展（東大阪市民美術センター）

TOPICS

教員×在学生×卒業生

作品交流展「蔵書票展」

2021年度から始まった版画ゼミの作品交流展「蔵書票展」。教員と在学生と卒業生が版画で制作したオリジナル蔵書票を一同に展示しました。「蔵書票」というテーマのもと、立場や世代を超えて交わることで、同じ場所で版画に関わった人々との繋がりと関係性を、ひとつの物語として形作っていく試みです。





竹内さんの時間割(1年次)

時間	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1		英語 1 A		日本民俗学	オーラルイングリッシュ 1
2				英語 1 B	
3	スペイン語総合 1		基礎ゼミ	芸術と表現	
4	国際化と異文化理解			現代の社会論	
5		住みよい社会と福祉	コンピュータ実習 1	日本史概説A	日本文学論
6		博物館概論			

竹内 ゆきのさん 文化・歴史学科[3年] 滋賀県立守山高校出身

古代エジプトの歴史から現代のメディアや文化まで知識を広げ、関心を深め、知的土台を築く

文化・歴史学科では、人間が生み出す輝かしい文化全般を視野に入れ、人類の歩みを掘り起こすと同時に、現在の出来事を見据える力を養います。日本から世界まで、古代から現在まで、地域や時代にかかわらず、人間の営みや思想、楽しみや争い、社会の誕生と変動を自分の視点と関心に基づいて幅広く、深く学べます。「文化」を横軸に、「歴史」を縦軸に、独自の「学」を見つめる航海に乗り出してください。教員がそれをナビゲートします。さらに＜文化資源学系＞の科目を中心に、各地の現場に出かけ、自分で見て、調べ考え、それを発信する、アクティブで未来志向の個性を育てる科目と活動が多く組まれています。4年間の航海が終わったとき、きっと自分の頭脳と行動と発言に自信を持つ大人として、社会に立っているでしょう。

民俗学を追求し、知識と思考を深め将来につなげたい

竹内 ゆきのさん

民俗学に興味があり、この学科を志望しました。履修している民俗学実習という講義では、座学だけでなく、現地の歴史や文化を肌で感じるフィールドワークが設けられています。現地調査では、想定していなかったお話を伺え、新たな考察が生まれました。この学科には、日本から世界まで幅広い分野が設けられているので、自分が学びたいことをとことん学ぶことができる環境が整っています。さまざまな講義を通して知識を習得できることが楽しくて仕方ありません。将来は培った知識を生かして学芸員の資格を取得し、民俗学を扱う資料館や博物館で働きたいと考えています。

取得可能な資格 ■ 中学校教諭一種(社会) ■ 高等学校教諭一種(地理歴史・公民) ■ 司書 ■ 学芸員 など

本学科の特色

第1の特色は多彩な学習テーマです。「文化」とは、進化の道を歩みはじめた人類が、長い時間をかけて自然に手を加えて作り出してきた物心両面の成果のことです。衣食住にはじまり、宗教・言語・道徳・習慣・学問・芸術・政治など、生活形成のためのあらゆる様式と内容を含みます。たとえば古代文明、戦国時代、西洋哲学、地方の祭りから、現代のテレビやジェンダー・セクシュアリティまで、文化や歴史とかわりがある限り何でも学びの対象です。

第2の特色は4つの専門科目の系＝授業群(P.37以降参照)を設け、カリキュラムの組み方で、各分野を専門的に学習することも、分野を横断して広く学習することもできる点です。

第3の特色は少人数制ゼミの充実です。内容の違う個性的なゼミが用意されており、教員や仲間と語り合って知識と思考を深めることができます。

TOPICS フィールドワーク

キャンパスの外に出て、文化と歴史を体験する

文化・歴史学科では、文化資源学系を中心に、現代と古代の文化に直接触れる体験や実習の機会をたくさん設けるようにしています。たとえば「民俗学実習」では農山漁村に出かけて古くからの習慣を調べ、「文化探索実習」では近畿圏で現在や過去の文化の調査を実施します。そして、学んだ知識を外に向かって発信できるように、「文化活用・発信実習Ⅰ・Ⅱ」では、冊子やインターネットなどを使った情報発信の基礎を学べるようにしました。「文化資源学自由研究」は、長期休暇などを利用してフィールドを体験するプログラムです。また、近畿大学および文芸学部との留学制度やインターンシップと連携して、学生を海外に送り出すサポートをしています。さらに、有志学生が中国、タイ、インド、エジプトなどの海外へ自主研修旅行やインターンシップに出かけるためのサポートも続けています。自ら行動することで、世界がもっと近づく機会をつくっています。

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により変更または中止になる場合があります。



学生インタビュー

自分の好きを存分に追求できる環境です！



中学高校で複雑化する友人関係や他国の人々との出会いから、異文化理解について学びたいと考える中で、中国についても勉強したいという想いもあり、自分が学びたいことを追求できる文化・歴史学科を志望しました。現在は、考古学やヨーロッパの文化だけでなく、民俗やジェンダー、日本語史やファッション論など幅広い分野を学んでいます。また、フィールドワークも豊富で、思い切って挑戦できる環境や実践的な体験ができるのも魅力の一つ。私が学びたかった異文化理解については入学時よりも身につきましたが、さまざまな人と出会う機会が増える中で異文化理解の難しさにも直面しています。日本語教員養成課程を受講しており、異文化理解の学びが生かされる機会も多く、これまでに学んだ全てのことを意外なところで生かすことができ、その度にまた成長していると実感しています。

豊嶋 穂乃花さん 文化・歴史学科[3年] 大阪府・賢明学院高校出身

専門科目授業群

日本史系

日本の歴史を体系的に学ぶ



日本史系の授業群は、日本の古代から近現代に至る歴史と文化を学び、発見する楽しさを体験しながら、私たちの歴史と文化を未来に引き継ぐことをめざしています。高校までの日本史は、教科書を暗

記することが勉強の基本ですが、教科書に載っている一つひとつの項目には、豊かな歴史的背景と研究の蓄積があります。大学の日本史は、その中に自ら分け入り、独自の視点から読み解き、歴史を明らかにする方法を学びます。そのためには、最新の研究成果に触れ、先人たちが書き残した文献史料に親しむとともに、日本の地理や文化遺産に深い理解を持つことが大切です。日本史系の授業には、各時代の講義や講読のほか、地理学・思想史に関する講義が含まれており、文化資源学系にも、近畿の歴史や文化を探索する方法を学ぶ授業が用意されています。

関連SEMINAR紹介

鈴木 拓也 ゼミ

日本古代史について熱く語り合うゼミです。自分が興味を持っているテーマについて、自ら学び考えたことを、ゼミの仲間の前で発表し、意見を交換し合い、優れた卒業論文を書くことをめざします。研究テーマは基本的に自由で、たとえば行基の社会事業、聖武天皇の大仏造立、桓武天皇と長岡京、平安貴族の医療と呪術、女帝、怨霊など、実にさまざまです。また近畿にいる地の利を生かして、希望に応じて難波宮・平城宮・東大寺などの史跡を見学し、伊勢・四国などにゼミ旅行に出かけています。



PICK UP! 1

日本近現代史

日本近現代の歴史を、ジェンダーやマイノリティの視点で考えます。家族や性のあり方をめぐる現在の「あたりまえ」は、政治や経済の歴史と深く関わりながら歴史的に形成されたものであることを学びます。

PICK UP! 2

日本古代史

飛鳥・奈良・平安時代の政治と文化について考えます。聖武天皇の大仏造立、桓武天皇の長岡・平安遷都をめぐる政治史など、多様な問題について、考古学の成果も踏まえながら解説します。

現代文化・倫理系

日本、世界を問わず、現代の文化をさまざまな角度から読み解く



日本、そして世界でリアルタイムで起こっているさまざまな事象を広く視野におさめ、楽しんだり悩んだり怒ったりしながら、これから社会で生きていく上でのものの見方、考え方を深めていく講義です。ジェンダー、セク

シュアリティ、メディア、倫理、思想といった言葉がキーワードになりますが、扱うテーマはケータイ文化やポピュラー音楽から現代思想、世界経済の問題まで、硬軟とりまぜ多彩な講義を用意しています。学びのポイントは「異なった見方、考え方を身につける」。女性と男性の視点の違い、障がい者や外国人から見た日本社会、あるいは哲学的な考え方など、多様で複眼的なものの見方を学んで、現代社会を生き抜く力にしてください。

関連SEMINAR紹介

白水 士郎 ゼミ

現代倫理学を掲げたゼミです。とはいっても「食」「環境」「生命・医療・福祉」「地域・まち」をキーワードに、それぞれが関心ある現実のさまざまなテーマ、たとえば「世界の貧困問題」「新エネルギー」「フェアトレード」「ダイエット」などを議論し合いながら、どう社会にかかわるか、どう生きていくべきか、を考えます。琵琶湖畔の米作りや神戸の地域カフェ探訪も恒例で、文化資源学に関心ある学生も歓迎しています。



PICK UP! 1

現代学入門

私たちの生きる現代という時代／社会をさまざまな角度から見つめ直す入門編です。スポーツ・犯罪・ジェンダーから解析する日本社会、食から問い直す環境と倫理、大阪と沖縄・奄美の歴史的なつながり、など。

PICK UP! 2

情報と文化

政治・経済から、芸能・スポーツまで、メディアで語られるリアルタイムのニュースを取り上げます。良識的な理解を超え、極論も含めて、問題解決をめざす思考訓練の場です。

世界史系

世界の多様な文化と歴史を学ぶ



世界中には、日本とは違うさまざまな文化が、遠い過去から営まれ、そして現在も続いています。この授業群は、地域的には西洋と東洋、時期的には古代から現在までの人類の歩みを概観できると

ともに、世界の文化と歴史を、文献史学、考古学、口述記録、宗教学、文化人類学、文化史を含む多角的な視点から学べるように設定してあります。授業を通して、中国や東南アジアやインド、ヨーロッパやアフリカなどにおける古今の歴史と文化に触れながら、ゼミでさらに特定の地域研究を深めることができます。地理的及び歴史的な文化の多様性と流動性を知ることは、グローバル化が進んだ中で、現在そして将来世界がどうあるべきか、自ら考え、行動するための基礎になり、海外の異なる文化の中で育った人々と理解し合う礎になるはずです。

関連SEMINAR紹介

辻河 典子 ゼミ



西洋近現代史を主なテーマとするゼミです。ゼミでは、学生それぞれが関心ある時代や地域を自由に選び、発表と議論を通じて研究を進めます。政治、宗教、教育、生活、交易、建築など、扱うトピックはさまざまです。ヨーロッパ諸地域などのいわゆる西洋世界の歴史だけでなく、日本と諸外国との交流

の歴史に興味がある人、現代世界の諸問題の背景を歴史的に探りたい人、文化資源学の方面から西洋近現代史を考えてみたい人も歓迎しています。

PICK UP! 1

世界史概説

世界史を研究するための基本的なツールとなる視点と方法を学ぶ授業です。社会史・環境史・ジェンダー史などの研究手法を学ぶと同時に、各地域・各時代の歴史や文化についての知識も深めていきます。

PICK UP! 2

西洋文化史

ヨーロッパ・アメリカ社会の歴史を時間・空間を隔てた「異文化」という観点から読み解いていきます。史料に残された当時の人々の「声」に耳を傾けながら、一緒に彼らが生きた時代に迫ってみましょう。

文化資源学系

日本、世界の文化資源を見いだし、発信する！



世界遺産だけが文化資源ではありません。意外にも、文化資源はみなさんの身近なところに散らばっています。文化資源学系では、日本と世界における有形・無形の文化遺産の重要性を学び、それらを現在と将来に残し、生活や社会の中で生かす方法を模索することをめざします。さまざまな文化遺産を学んだ上で、身近な文化資源を調べて掘り起こし、その活用と発信の方法を考えてみましょう。この系では考古学と民俗学を中核にしながらも、歴史と現代の学問を統合した形での新しい授業群を用意しています。実習形式の講義に参加しながら、主体的にフィールドに出て、自分で考え、行動することを求めます。

関連SEMINAR紹介

藤井 弘章 ゼミ



ことができます。歴史的な関心を持つ人も、現代の視点で日本文化を考えたい人も歓迎です。実習に出かけて、現地調査を実践することを重視しています。最近では和歌山県の山村に出かけています。

PICK UP! 1

文化資源学概説

文化は今日、どのように扱われているのでしょうか。文化を資源として見直しながら、文化資源学の基礎的な考え方を学びます。日本と世界の例を取り上げて、文化資源の多様性を見ていきます。

PICK UP! 2

近畿歴史文化探索

近畿の古代寺院と都城を中心に、史跡と文化財の見方を実践的に学びます。四天王寺・法隆寺・東大寺などの寺院、難波宮・長岡京・平安京などの都城について、その歴史・考古・建築・美術の見どころを解説します。

学びのポイント

POINT 1

少人数・全員必修の
アットホームなゼミ指導

1年次の基礎ゼミ、3・4年次のゼミは原則上限15人。一人ひとりの個性を尊重した親身なゼミ指導が受けられます。

POINT 2

人前で話す自信と度胸、就職活動を意識したプレゼン（発表）力の養成

人前で自分の意見が言えない…ご心配なく。少人数ゼミで発信能力を初歩から手ほどき。パソコンを使ったプレゼン技術も育成します。

POINT 3

自分なりの学習計画をサポート
系や学科をまたいだ科目履修も可能

多彩な科目を広く学びたい学生、深く一つを究めたい学生など、個性に応じた学びを教員がサポート。他学科・専攻開講科目も履修できます。
※他学科・専攻開講科目は指定された科目のみとなります。

POINT 4

地域に根ざした学びと活動
近畿圏のさまざまな現場での調査と実習

歴史豊かで、今も新たに文化を発信し続ける「近畿」。史跡、自然、まちづくり……人と地球にかかわる実習も多彩です。

POINT 5

知識の活用・発信

実習を通して、学んだ知識を活用・発信してみましょう。

カリキュラム

4つの系と自由なカリキュラム

文化・歴史学科では、「日本史系」「世界史系」「現代文化・倫理系」「文化資源学系」という専門科目の授業群からなる4つの系を設けており、各系の分野を専門的に学べるようになっています。同時に、複数の系から自由に授業を選ぶので、自分の興味に合わせた独自のカリキュラムを作れるようになっていきます。たとえばある専門を深く学びたい場合は、特定の系の授業を多数受講し、その系に関連するゼミを選択することで、さらに掘り下げた専門学習が可能です。他方、文化と歴史を広く学びたい場合は、複数の系から授業を選んで、学習の幅を広げることが可能です。入学前に細かい専門を決める必要はなく、カリキュラムの作成には教員がアドバイザーになりますので、入学してからゆっくりテーマを探し、自分独自のカリキュラムを作ってください。

	1年次	2年次	2・3年次	4年次
	基礎科目Ⅰ・発展科目Ⅰ	基礎科目Ⅱ	発展科目Ⅱ・学科選択科目	
日本史系	基礎研究 日本史概説 世界史概説 現代学入門	日本古代史講読 日本中世史講読 日本近世史講読 日本近現代史講読	日本古代史 日本中世史 日本近世史 日本近現代史	
世界史系	文化資源学概説 近畿現代文化探索 近畿歴史文化探索 世界の文化資源 近畿の文化資源	西洋史講読Ⅰ 西洋史講読Ⅱ 東洋史講読 古代エジプト史講読	西洋史 西洋文化史Ⅰ 西洋文化史Ⅱ 東洋史 PICK UP! 2	演習Ⅰ 演習Ⅱ
現代文化・倫理系	現代学入門 文化資源学概説 近畿現代文化探索 近畿歴史文化探索 世界の文化資源 近畿の文化資源 女性学・男性学 PICK UP! 1 人文地理学 日本民俗学 環境民俗論	現代文化講読Ⅰ 現代文化講読Ⅱ 現代倫理講読Ⅰ 現代倫理講読Ⅱ	環境倫理学 生命倫理学 文化社会学 現代人間学	言語文化 セミナー 文化学特講
文化資源学系	日本民俗学 環境民俗論 日本考古学 宗教学 地誌学	考古学講読 文化資源学講読 民俗学実習	歴史考古学 考古学実習 地域調査実習 文化探索実習 文化活用・発信実習Ⅰ	卒業論文

※科目は一部抜粋です。

※カリキュラムは2023年度のもので、2024年度は変更になる場合があります。

PICK UP SEMINAR

新谷 和之ゼミ

主体的に学び、
社会の見方を変える





新谷 和之 准教授

好きなことを貪欲に学ぶ

私のゼミでは、日本の中・近世史のなかでそれぞれ研究課題を設定し、それについて探究してもらいます。どのテーマで研究するにしても、オリジナルな情報源に当たり、自分の頭で考え抜くよう指導しています。また、史跡や博物館などの見学を定期的に行い、歴史の現場での学びを重視しています。こうした経験を通じて、優れた現場感覚や物事の本質を見抜く能力を養ってほしいと思います。

思考力が身につき、好きなことを探究できる！

各自が興味や関心を持ったテーマについて突き詰めた研究ができるゼミです。ゼミ生の研究テーマは多種多様で、武士や国衆を扱う学生もいれば、学問や宗教について研究する学生も。発表する機会が多く設けられているので、プレゼン力を身につけることができ、他学生の発表を聞くだけでも知識が広がります。卒業後は、文化や芸術に関する施設で働きたいと考えているので、培った知識や探究心を育みたいと思っています。



中野 鈴音 さん【4年】
兵庫県立尼崎稲園高校出身

教員紹介



高宮 いづみ 教授

古代の知識を、
未来への思考につなげよう

エジプトの遺跡から出土した古代の物を扱って当時の歴史を考える「考古学」が専門です。遠い古代の文明を見つめると、現在や未来への視野も開けるでしょう。

主要担当科目

古代エジプト史講読

研究内容

古代エジプトの文化と社会、文明の形成



鈴木 拓也 教授

努力次第で、
誰でも歴史の第一人者に

飛鳥・奈良・平安時代の政治と人物、制度と文化などを扱っています。歴史研究の条件は学者も学生も同じ。誰でも努力次第で第一人者になれます。

主要担当科目

日本古代史

研究内容

日本古代の政治と人物、首都と辺境



網 伸也 教授

過去の人々が残したもののから
新しい歴史を構築する

考古学は過去の人々が残した文化遺産から歴史を再構築する学問です。身近にある文化財に触れて、豊かな歴史的感性を養ってください。

主要担当科目

考古学講読、日本考古学

研究内容

古代都城造営論、古代寺院史



前田 益尚 教授

メディアを超えた、
ライブ授業を

TVの視聴者が、“ものの見方”によって、心理的に送り手より優位に立てる方法論を探索。また、自らのがん克服体験に基づき“楽天的闘病論”を開拓しました。

主要担当科目

情報と文化

研究内容

メディアの受け手が、送り手をコントロールできる
奇策を講じること



上田 貴子 教授

学びは人として
成長するプロセス

華僑などの中国人移民や移民が形成する都市社会を研究しています。大学では、智力・体力・行動力・運を引き寄せる力を身につけてください。

主要担当科目

東洋史

研究内容

中国移民史、都市社会史



藤井 弘章 教授

先人の知恵を学び、
地域文化の背景を考える

日本人と野生動物とのかかわりを環境民俗学的に調査。郷土に対する誇りを見つけ、地域の活性化に結びつけられる魅力的な学問ですよ。

主要担当科目

環境民俗論

研究内容

ウミガメ・カワウの民俗研究、紀伊半島の
民俗誌研究



白水 士郎 准教授

環境・食・医療から
人間のあり方を問う

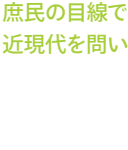
自然保護論争や食をめぐる問題、医療がもたらした生／死の変化―。現代の問題を通して、「どう生きるべきか」を哲学的に考えます。

主要担当科目

生命倫理学、環境倫理学

研究内容

自然保護活動と環境思想、食の倫理、生と死の倫理



人見 佐知子 准教授

庶民の目線で
近現代を問い直す

ごくふつうの人びとが日々をどのように生きたのかを、史料から考えたいと思っています。歴史を通して(いま)を相対化する視点を身につけて欲しいです。

主要担当科目

日本近現代史

研究内容

日本近現代史、女性史、ジェンダー史



辻河 典子 准教授

歴史をひもとき、
現代世界の由来を探る

ハンガリー系亡命者の視点からヨーロッパ近現代史を研究しています。歴史を多角的に考えることを通して、現代世界の成り立ちをさまざまに探っていきましょう。

主要担当科目

西洋史

研究内容

ハンガリー・中央ヨーロッパ近現代史



新谷 和之 准教授

歴史から地域の特色を探る

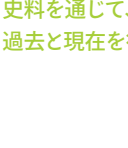
戦国大名やお城をテーマに、今につながる地域の個性を探っています。身近に残る歴史の痕跡をたどり、現代を見つめなおします。

主要担当科目

日本中世史

研究内容

日本中世の権力と地域社会、中世・近世の城郭



石田 真衣 講師

史料を通じて、
過去と現在を行き来する

古代地中海世界の文化交流や社会変容について研究しています。多様な歴史資料を手がかりに、過去の人々の声に耳を傾け、現代につながる問題を発掘してみましょう。

主要担当科目

西洋史

研究内容

西洋古代史、パピルス学

※教員組織は2023年度のもので、2024年度は変更になる場合があります。

卒業論文紹介

- イングランドのPSHE教科書から見る
性教育の社会的役割と課題の変化

■ 東ドイツ市民の共助と行政へのアプローチについて

■ 「満洲国」における在満日本人の「食」をめぐる生活実践

■ 学生ボランティアによる中国での植林活動の意義

■ 米沢藩上杉家における御武具召初性格
一儀式の流れと家臣の構成に着目して―
- セックスも恋愛も当たり前じゃない
一性的魅力を感じないアセクシュアルとは―

■ 奈良県馬見丘陵地域の土地利用史と地名
一通時的地名研究に基づく歴史的里山利用の検討―

■ ボランティア元年における西宮ボランティアネットワークの特徴と意義

■ 民主主義意識の獲得と「帝国意識」の残存
一吉田得子日記から―
- ムーミン作品で見る性規範と現代セクシュアリティの関係

■ 産業革命期イギリスの労働者階級の生活
一女性と子供の生活の変遷―



本学科の特色

デザインやクリエイティブな分野で勉強するには、特殊な能力や訓練をしていないと難しいと思っている人も多いでしょうが、この学科はデッサンなどの実技試験もなく一般入試で入れます。全員が「感性学」「デザイン」「プロデュース」を横断して学び、基礎から幅広い知識と能力を身につけます。そのためにはさまざまな分野で活躍している多彩な教員が、リアルで実践的な内容の授業を行います。

総合大学ならではの超ジャンルの教育を実践し、多様性を持った立体的な知識、発想法、実行力を養います。すでに文芸学部では医学部と協力し、美術、演劇、文学を病院内に提供する「HART（心＝Heartと芸術＝Artを重ね合わせた造語）プロジェクト」を実践してきた実績があります。このように情報化社会の次に望まれるものは情報の社会化です。時代を先取りする「文化プロデュース」を学べるのは文化デザイン学科だけです。

専門科目授業群

感性学系

「感じること」を通じて、「アイデア」を生み出す

海の音を聴きながら刺身を食うと美味しさが増す？
皆が心地よく、かといって平凡ではないアロマとは？
感性学は一人ひとりの具体的な経験を重視する研究分野です。まず体験してみ、実感にもとづき考え、リサーチして、新しいアイデアの創発につなげる。テクノロジーが発展して、情報が溢れれば溢れるほど、かえって「感じること」への深い理解が求められるようになってきています。ヒトだけでなく、動物や植物、機械も感性は持っています。その意味で、感性学の射程は広大です。皆さんの感性を通じて、世界をコ・デザイン／プロデュースしてみませんか。

関連SEMINAR紹介

視覚文化論

視覚文化論では日常的に私たちが見たり思い浮かべたりする「像」を「イメージ」と呼び、その特性を探ります。速読、錯視、思い出、幻覚、夢、デジャヴ（既視感）、人生パノラマ回顧（走馬灯のように過去を想起する）。ヒトは驚くほど多様なイメージを経験します。この授業では多くの事例を用いて、受講者の経験にフィードバックしながら、自然と文化、物質と記憶という両軸から、視ることの不思議に迫ります。またさらには、視覚とその他の諸感覚との相互作用についてもフォーカスします。



デザイン系

デザイン＝構想によって社会の新しい図柄を描く

デザインとは、モノの色や形を考えることだけではありません。たとえば、「街をデザインする」「安全をデザインする」「つながりをデザインする」といった場合、それらはデザインという名称を使いながらも、より快適な社会環境を創り出すための創造的発想法なのです。デザイン系では、空間、視覚、プロダクトという3つの分野を横断しながら、造形力や技法も学びますが、技術教育だけに特化することなく、デザインと人間、デザインと社会との関係性を考え、構想力・創造力を駆使して新しい生活や社会を提案する能力を養います。

関連SEMINAR紹介

デザイン学概論

デザインは単に感覚やセンスだけで行うものではありません。理論や思想、歴史など、学問としての基礎知識を身につける必要があります。文化デザイン学科でデザインを学ぶ場合、作品制作のみでなく、しっかりした思考体系を備えて社会的な問題意識を持つことが大切です。デザイン学概論は、デザインという概念を多角的な視点で講義します。



プロデュース系

文化・芸術で社会をつなぐ—プロデュースの力を知る

これからの高度成熟化社会においては、文化コンテンツの有効活用や文化産業のイノベーションが必須となり、アート、デザイン、文化資産の社会化や事業化をめざした総合企画力がより強く求められます。従来の大学教育では、この分野の専門的教育は十分なされてきませんでしたが、ここでは総合的文化プロデュース能力を持つ人材を育成します。たとえば、医療環境に芸術を組み入れるホスピタルアートも、近畿大学病院や芸術学科と連携して実践します。まさに総合大学の強みを生かした教育です。

関連SEMINAR紹介

プロデューサー論

「プロデューサー論」では、アートやデザインの分野だけではなく、音楽、映画、アニメーション、ファッションなどさまざまなエンターテインメントの領域で活躍するプロデューサーを取り上げ、社会におけるプロデューサーの役割やその影響について考察します。特にACPC（コンサートプロモーターズ協会）からプロデューサーをゲストに迎え、現場の声を授業に届けています。



※「アートコミュニケーションゼミ」は2020年から「ホスピタルアートゼミ」に改称



田中 瞳美 さん 文化デザイン学科[4年]
兵庫県・近畿大学附属豊岡高校出身

感性と知性を研ぎ澄まし、デザインとプロデュースによって、文化の未来を構想する

文化デザイン学科は、「感性学」「デザイン」「プロデュース」の3つの系で構成されています。まず感性学系では、創造性や美の原理とその及ぼす影響力、思想史的な流れを学びます。哲学からサブカルチャーにも及ぶ幅広い文化領域を対象とします。デザイン系は、モノの形を描くデザインや技術教育だけに特化することなく、デザインと人間・社会との関係性を考察し、広く社会全般に応用できる創造的発想能力を養うことが目標です。プロデュース系は、文化的コンテンツを社会化するための構想法と方法論を学びます。たとえば、地域活性イベントプロデュース、展覧会企画や新商品開発など。また近畿大学病院と連携しながら、医療と芸術を結びつける「ホスピタルアート」も授業で実践します。

実学教育で培ったデザインやアートの力を社会に生かしたい

田中 瞳美さん

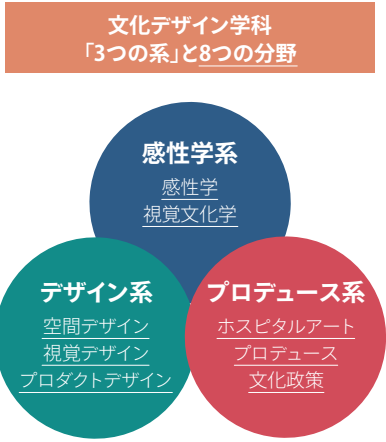
在学中から企業や行政の方々と関わり、産官学連携プロジェクトを通して実践的な取り組みができるのは、この学科の魅力の一つです。入学当初はポスターやパッケージデザインといった広報系のビジュアルデザインに興味を持っていたのですが、プロデュース系ゼミで体験した「ホスピタルアート」や「地域活性化プロジェクト」では、これまでに育んだ知識を存分に生かし、社会貢献することに気づきました。そのことがきっかけとなり、現在ではまちづくりや地域の文化振興を担う公務員という夢を見出しました。

取得可能な資格 ■ 司書 ■ 学芸員 など

学びのポイント

POINT 1	人間のさまざまな文化活動を社会につなげて生かすためのシステムを考え、創り、実践することを目的として、その知識と方法を学びます。
POINT 2	3つの系—感性学系・デザイン系・プロデュース系と、8つの分野—感性学、視覚文化学、空間デザイン、視覚デザイン、プロダクトデザイン、ホスピタルアート、プロデュース、文化政策からなっています。
POINT 3	3つの系の科目を横断してまんべんなく履修しながら、学年が上がるにしたがって自分の専門分野を徐々に決定できるようなカリキュラム構成になっています。

POINT 4	1年次から専門科目としての「ゼミナール」を開講し、専門的知識と技能を教育します。「ゼミナール」は全員必修で、かつ少人数のきめ細かな教育をします。
POINT 5	コミュニケーション能力を高めるために、パワーポイントを使ったプレゼンテーションや討論をする学生参加型の授業、あるいは他学部や他学科、さらには学外の企業や団体などと連携した実践的な実習授業を数多く行います。



カリキュラム

3つの系を横断する全方位的カリキュラム

文芸学部が持っている文化コンテンツを横断的に貫く実学的プログラムを構築して、それを社会の中で生かすためのデザインとプロデュースを実行していきます。したがって、教育方法としては、単に一方向の講義をするだけでなく、教員と学生間の、あるいは学生同士のインタラクティブな交わりを可能にするタスクワークを積極的に取り入れる教育が必要となります。

その中心となるのは1年次から4年次まで必修科目として設けられた「ゼミナール」です。「ゼミナール」においては、各教員の専門分野に応じて知識と実践のノウハウを教授するとともに、社会との連携を図りながらデザインやプロデュースの企画を実行することが教育の軸となります。

	1年次	2年次	3年次	4年次
必修科目	感性学概論 デザイン学概論 プロデュース学概論 ゼミナールⅠA ゼミナールⅠB	ゼミナールⅡA ゼミナールⅡB	ゼミナールⅢA ゼミナールⅢB	ゼミナールⅣA ゼミナールⅣB 卒業論文・卒業制作・卒業プロジェクト
選択必修科目	感性学系科目群 西洋芸術文化史A 西洋芸術文化史B 日本芸術文化史A 日本芸術文化史B	感性文化論 視覚文化論 表象文化論 近畿風土論	感性学特論Ⅰ 感性学特論Ⅱ 感性学特論Ⅲ	
	デザイン系科目群 デザイン感覚基礎A デザイン感覚基礎B デザイン史A デザイン史B	ソーシャルデザイン論 空間デザイン論 視覚デザイン論 プロダクトデザイン論	デザイン学特論Ⅰ デザイン学特論Ⅱ デザイン学特論Ⅲ	
	プロデュース系科目群 アートコミュニケーション論A アートコミュニケーション論B プロデュースー論A プロデュースー論B	文化政策論 劇場文化論 地方創生論 ソーシャルメディア論	プロデュース学特論Ⅰ プロデュース学特論Ⅱ プロデュース学特論Ⅲ	
共通選択必修科目	芸術文化講読A 芸術文化講読B DTP演習	プロジェクト演習A プロジェクト演習B プロジェクト演習C プロジェクト演習D 3Dモデリング演習 CAD演習 知的財産論	広告コミュニケーション論	

※カリキュラムは2023年度のもので、2024年度は変更になる場合があります。

ゼミナール選択制

1 年次	3つの系8つのゼミ全てを履修し、基本的な技術・知識を身につけます。	2 年次	1年次同様、3つの系8つのゼミ全てを履修しますが、各ゼミのコマ数が約2倍に増え、領域横断的な学びを深めます。	3・4 年次	ゼミを1つに絞り、より深く探求し、卒業論文・制作・プロジェクトに結びつけます。
---------	-----------------------------------	---------	--	-----------	---



教員紹介

感性学系		
	感性の世界に クールにダイブしよう！	
前川 修 教授		
「感性」は、決して高尚なものではありません。アートを体験する時ばかりでなく、日常の何気ない経験の中にも感性の芽は宿っています。感性の芽を発見し、考えるために必要なのは、感性の世界にダイブする熱意、そして好きの耽溺から身を引き離すクールさです。皆さんで感性の世界を探索してみましょう。		
主要担当科目	感性学概論、感性文化論、感性学特論など	
研究内容	写真の感性学、触覚映像論、ホラー映像論	

	宇宙に行ったら 感性はどうなる？	
岩城 覚久 准教授		
視覚、聴覚、触覚、嗅覚、味覚、第六感?さまざまな感覚を用いて、わたしたちは日々何を体験しているのでしょうか。最近では、宇宙と感性についても研究しています。理論と実践が相互作用する文化デザイン学科で一緒に考えてみませんか。		
主要担当科目	視覚文化論、表象文化論、感性学特論など	
研究内容	イメージ、身体、メディア、テクノロジーの感性学	



デザイン系

	社会と向き合う構想力、 発想力、表現力を養う	
岡本 清文 教授		
衣食住それぞれにはデザインという要素が不可欠であり、デザインを学ぶことで、より豊かで快適な社会を築くことができます。これからの時代はそういう創造性と企画力、社会性を兼ね備えた人材を待ち望んでいます。世界をデザインしよう！		
主要担当科目	デザイン学概論、空間デザイン論など	
研究内容	建築設計や環境デザイン、商品開発などを通して、誰もが享受できる美しい暮らしを創造する	

	創造する楽しみを見だし 未来を“カタチ”にしよう！	
柳橋 肇 教授		
生活空間にはありとあらゆるものが存在し、そのほとんどがデザインの対象です。また、世に無いものを可視化することもデザインの大きな力です。プロダクトデザインを学び、イメージを具現化する力を培い、世を面白くする“カタチ”を創造していきましょう。		
主要担当科目	プロダクトデザイン論、3Dモデリング演習など	
研究内容	製品デザインや先行開発デザイン等を通して、機能美と造形美、未来にあるべきモノを創造する	

	世界は、視点の置き方・ 伝え方で大きく変わる！	
後藤 哲也 准教授		
情報の8割以上は視覚を通して得られると言われます。特に現代は、旧来の紙媒体やテレビなどに加え、インターネットを通して視覚情報がわたしたちを常に取り巻いています。これからの時代の視覚伝達のための知識と技術を、実践を通して学んでいきましょう。		
主要担当科目	視覚デザイン論、デザイン感覚基礎など	
研究内容	視覚デザイン、ビジュアルコミュニケーション	

プロデュース系

	アートの限りない可能性を、 どこまでも追い求めよう！	
森口 ゆたか 教授		
「アート」という概念が生まれる数千年も昔から、「祈り」や「癒し」は人々の生活になくてはならないものでした。病院の起源である教会で、人々はさまざまなアートによって癒され啓蒙され、身体的手当がされていたのです。アートの持つ根源的な力を用いて、より豊かな社会を築きましょう。		
主要担当科目	アートコミュニケーション論、プロジェクト演習など	
研究内容	「ホスピタルアート」を中心に、美術館や音楽ホールを飛び越えた、より社会とダイレクトに関わるアートの可能性を探る	

	未来に どんな文化を作っていくか、 一緒に考えてみませんか？	
梅原 宏司 准教授		
プロデュース系のなかで、過去・現在・未来の文化がどのように政治・政策とかわっているか、地方・コミュニティ、メディアなどどのようにかかわっているかを、みなさんといっしょに考えていきます。		
主要担当科目	文化政策論、地方創生論、ソーシャルメディア論など	
研究内容	現代日本と世界の中での文化政策の位置づけ。これまでの人類の歴史で、文化がどのようにつくられてきたかを、政治・政策の面から考察する	

	「生き方」そのものを、 多彩に創造しよう	
アサダワタル 講師		
プロデュースは、エンタメやアート業界の専門知にあらず。この世界をあらゆる角度から見つめ直し、「新たな問いを発明する」ことです。分野を越境しながら旅するように学び、あなたなりのオリジナルな「当事者性」と「表現力」を養ってください。		
主要担当科目	プロデュース学概論、プロデュースー論Bなど	
研究内容	まちづくりや福祉、働き方など多領域に関わる「生活実践としてのアート」、音楽とコミュニケーションデザイン	

※教員組織は2023年度のもので、2024年度は変更になる場合があります。

PICK UP SEMINAR	五感で感じとる力、五感で考える力を身につける
感性学系ゼミ 感性を走らせること 前川 修 教授・岩城 覚久 准教授 	 (左)岩城 覚久 准教授 (右)前川 修 教授 感性学ゼミは、学生の取り組む対象を限定しません。例えば、ゼミ生の研究テーマは、芸術からサブカルチャー、食べ物、香りや味覚まで、実に多種多様です。しかし、あらゆる文化現象は感性の活動があってはじめて成立します。見る/聴く/匂う/触る/味わうなどという感性の働き、それらが相互に関連したクロスモダリティの面白さを感じとり、自分のテーマにその面白さを注して五感で考えてみる、なおかつ(できれば)何かを作ってみる。こんなふうに、楽しみながら感性のもののさしを拡張し、それを走らせて考えること、これが感性学ゼミの目標です。  橋本 陸 さん[3年] 大阪府・近畿大学附属高校出身

学科・専攻紹介		
教養・基礎教育部門		
学びのポイント		
文芸学部独自の基礎科目を用意。幅広い知識で社会人への基礎を磨く		
幅広く柔軟な人間性と社会性を養うための共通教養科目をはじめ、文芸学部独自の学部基礎科目や資格関連科目を設定。語学教育も充実の体制を整えています。学びたい意欲を、総合大学ならではの利点でバックアップします。		
教養基礎科目		
教養・基礎教育	学部共通 共通教養科目	人間性・社会性科目群
		地域性・国際性科目群
		課題設定・問題解決科目群
		スポーツ・表現活動科目群
資格関連科目	外国語科目	英語1～4／オーラルイングリッシュ1～4／留学英語1・2／TOEIC1～4／TOEFL1・2／インターネット英語1・2／ESP1・2／ドイツ語総合1～4／フランス語総合1～4／中国語総合1～4／韓国語総合1～4 ほか
		学芸員資格
資格関連科目	日本語教員養成課程	生涯学習概論／博物館概論／博物館経営論／博物館資料論／博物館資料保存論／博物館展示論／博物館教育論／博物館情報・メディア論／博物館実習A・B ほか
		日本語音声学／日本語教育文法／日本語教授法1～4 ほか

※カリキュラムは2023年度のもので、2024年度は変更になる場合があります。

語学教育

国際文化を理解し、身近な文化を発信するツールとしての外国語を使えるようにする

外国語の言語形態や外国文化に触れ、国際社会にステップアップできる幅広い知識と教養を身につけます。映画・映像や音楽などを豊富に取り入れた実践的なメソッドで、楽しく効果的に使える外国語能力を、習熟度別に編成されたクラスで伸ばしていきます。TOEICテストや各種資格試験などにも対応し、実社会で役立つ語学力を増進させます。

教員紹介

第一外国語(英語)



田中 ちはる 教授

映画とイギリス文化文学が専門です。関心の中心はライフライティング(そしてライフ・イズ・コメディ)。人生と芸術の相互作用について研究しています。

【主要担当科目】 英語1～4、ESP1・2



小宮 真樹子 准教授

中世英文学、特にアーサー王伝説の研究をしています。長く読み継がれている物語ですが、時代や国によって解釈が異なるところに惹かれます。

【主要担当科目】 英語1～4



ロバート スタンリー スワイヤー
Robert Stanley Swier 講師

私の初期の研究は計算言語学でした。現在はコンピューターを使った言語学習と、タスクを基にした言語学習をあわせて研究しています。

【主要担当科目】 オーラルイングリッシュ1～4



歳岡 冴香 講師

主に認知言語学の観点から、比喩、日英語間翻訳の研究をしています。言葉の研究は、人や文化を見つめること。外国語を通して世界に触れてみましょう。

【主要担当科目】 英語1～4

第二外国語



松村 博史 教授

写実主義の先駆者・バルザックの小説世界と19世紀の医学との関係が研究のテーマです。異文化に触れて視野を大きく広げてください。

【主要担当科目】 フランス語総合1～4、国際化と異文化理解、言語文化セミナーA・B、言語文化セミナー初級



徳永 恭子 教授

ドイツ語圏の現代文学、思想、文化について研究。人生には限りがありますが、学ぶことを通して自らの生を無限に広げることができます。

【主要担当科目】 ドイツ語総合1～4、国際化と異文化理解、言語文化セミナーA・B、言語文化セミナー初級



中野 徹 准教授

日中戦争を題材とした通俗小説を研究しています。さまざまな考えに触れ、好奇心のアンテナの感度をあげて「面白い!」と思えるものを見つけてください。

【主要担当科目】 中国語総合1～4、国際化と異文化理解、言語文化セミナーA・B、言語文化セミナー初級



小島 大輝 准教授

韓国語の助詞の用法について研究しています。外国の言葉と文化に触れ、豊かな国際感覚を身につけるとともに、自分の可能性を広げてください。

【主要担当科目】 韓国語総合1～4、国際化と異文化理解、言語文化セミナーA・B、言語文化セミナー初級

※教員組織は2023年度のもので、2024年度は変更になる場合があります。

奨学金

奨学金は2023年度入学生のもので、2024年度は変更になる可能性があります。詳細は近畿大学ホームページをご参照ください。

入学試験の成績優秀者対象特待生制度		在学中の成績優秀者対象特待生制度	
文芸学部	入学試験の成績優秀者に4年間の授業料を全額免除します。 ※入学後は文芸学部新入生特待生規程に準じます。		■ 特待生A(各学科2人以内) 条件を満たす成績優秀者には当該年度の授業料を全額免除。
	■ 一般入試・前期(A日程) 上記受験生で得点率75%以上かつ上位者から40位以内。		■ 特待生B(各学科5人以内) 条件を満たす成績優秀者には当該年度の授業料を半額免除。
	■ 一般入試・前期(B日程) 上記受験生で得点率75%以上かつ上位者から30位以内。		いずれもTOEIC L&Rの成績が500点以上(英語英米文学専攻は700点以上)に加え、進級時の学業成績が学部規程の基準値を満たしている者。
	■ 共通テスト利用方式(前期)計25人以内 上記受験生で得点率80%以上かつ上位者から25位以内。		
文芸学部	■ 共通テスト利用方式(中期)計10人以内 上記受験生で得点率80%以上かつ上位者から10位以内。		

近畿大学独自の奨学金

区分	時期・期間	名称	内容
給付(返還不要)	在学中	近畿大学給付奨学金※1	年額／300,000円
貸与(無利子・一括型)	在学中	近畿大学奨学金(定期採用)※2	年額／600,000円

※1 近畿大学給付奨学金につきましては、入学前予約採用型の制度もあります。 ※2 薬学部医療薬学科は年額／800,000円

日本学生支援機構奨学金

※第一種、第二種とも高等学校などに在籍時に予約採用の制度があります。在籍の高等学校などにお問い合わせください。

区分	時期・期間	名称	内容
貸与(無利子・有利子)	在学中	第一種奨学金(無利子・選択型)	〈自宅通学〉月額20,000円～54,000円 〈自宅外通学〉月額20,000円～64,000円 (家計支持者の収入基準額により選択できます。)
		第二種奨学金(有利子・選択型)	希望する奨学金の月額を次の中から選べます。 20,000円～120,000円(1万円単位から選択) 貸与途中で月額を変更することもできます。 ※医学部40,000円、薬学部20,000円の増額も可能。(ただし、120,000円を選択した場合のみ) 利息①利率固定方式(貸与終了時に決定する利率で最後まで返還)、②利率見直し方式(返還期間中おおよわ5年毎に見直される利率で返還)より選択します。卒業あるいは退学した翌月から月単位で利息が計算されます(在学中および返還期限猶予期間は無利息)。

高等教育の修学支援制度

高等教育の修学支援制度(授業料等の減免と給付型奨学金)について令和元年9月20日に近畿大学および近畿大学短期大学部は文部科学省から対象機関として認定を受けています。

高等教育の
修学支援制度は
こちらから



大学院

総合文化研究科 【修士課程】

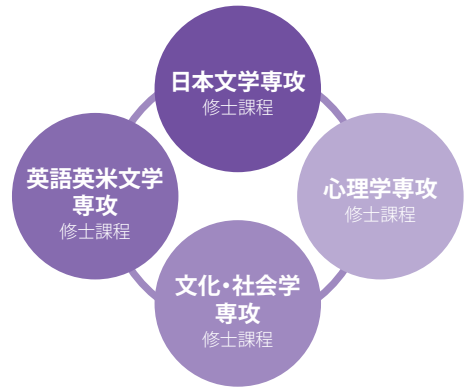
諸科学を総合する新たな「知」の創出を図り 社会変動に呼応した学問・研究と向き合います

日本文学専攻、英語英米文学専攻、文化・社会学専攻、心理学専攻の4専攻を設置。

専攻ジャンルを追究すると同時に、境界の枠を超えて他ジャンルとの交差・交流を深めることによって、専門の閉鎖性を排し、巨視的な視座に立って現代の先鋭的な諸学との交流・総合を図ります。

実学社会起業イノベーション学位プログラム 【修士課程】

2023年4月、起業家育成・チャレンジ精神を持った人材養成を目的に、12番目の大学院として「実学社会起業イノベーション学位プログラム」を開設。
大学4年間で起業した学生が、大学院に進学することで、さらに知識・経験を深めて事業を成長軌道にのせることができる教育・環境作りをめざします。大学の出身学部や専門分野は不問で、すでに起業している方、起業をめざす方を、社会人も含めて幅広く受け入れます。
また、国内最大規模のベンチャー投資会社であるインキュベイトファンド株式会社や、公益財団法人大阪産業局との包括連携協定によって、起業に必要な人脈作りもサポートします。



境界の枠を超えて他ジャンルとの
交差・交流を深める4つの専攻



インキュベイトファンド株式会社との包括連携協定の様子

施設紹介

学びと創造を支える文芸学部施設・設備

D館



芸術学科の実習棟です。1、2階は造形芸術専攻の実習室やゼミ室、3階は舞台芸術専攻の実習室があります。

3階 ホール



演劇・舞踊が上演できるホール。本格的な照明・音響・舞台機器を備えた、創造的なパフォーマンス空間です。

A館



文芸学部の講義室、演習室、中央図書館文芸分室、研究室、学生センターがあります。



A館のピロティ

1階 陶芸ゼミ室



1階には、陶芸ゼミ室のほか、ガラス造形・立体造形の実習室やゼミ室があります。

2階 織実習室



2階には、織実習室のほか、染織・油彩画・版画・美術史・芸術学の実習室やゼミ室があります。

中央図書館文芸分室



図書約23,000冊を所蔵。各学科関連図書があるほか、AV資料約1,300点が自由に閲覧できます。

デザインセンター



プロジェクト活動、制作、発表、展覧会など多目的なスタジオです。

2階 油彩画ゼミ室



すべてのゼミ室が開放的でゆったりした空間になっています。

3階 演劇実習室



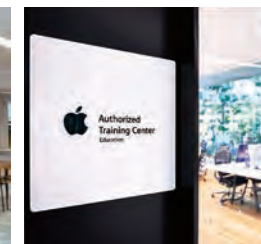
鏡とバーが設置された演劇・舞踊の実習室。授業だけでなく、公演もできるような機器が備わっています。

ACADEMIC THEATER

文理融合の「実学教育」の拠点。独自の図書分類「近大INDEX」によって、マンガや文庫、新書を含む約7万冊の書籍を収蔵した図書スペース「BIBLIOTHEATER」を中心に、スマホアプリで座席予約できる24時間利用可能な自習室、Apple社認定の教育トレーニングセンター「Apple Authorized Training Center for Education (AATCE)」などを集約。近大ならではの実学の成果を、ここから発信します。



BIBLIOTHEATER



Apple Authorized Training Center for Education

次世代型食堂



DNS POWER CAFE

専用アプリで食事メニューをカスタマイズし、キャッシュレスでの事前決済や時間指定予約によって並んで待つことなく食事ができるなど、学生の利便性を最大限に考慮した食堂です。学生の健康に配慮したプロテイン入りのメニューや、近大発食材を使ったメニューも販売しています。

KINCUBA Basecamp



KINCUBA Basecamp

起業マインドが旺盛な学生や教員が気軽に集まり、自由な交流・ディスカッションから新たな事業アイデアを生み出す場として、起業にチャレンジするきっかけを創出する施設。法人登記の際はこの施設の住所を用いて登記が可能で、起業しやすい環境を提供しています。また、入館時の顔認証システム導入や夜間の見回りなど安全面に配慮したうえで、24時間利用可能としています。起業家や経営者をはじめとした、多彩なゲストの講演・座談会も実施します。

THE GARAGE



THE GARAGE

大学と地元企業が交流し、研究シーズやアイデアを持ち寄って新たな価値を創り出すモノづくり拠点。3Dプリンターやレーザーカッターなどの機械を設置し、学生が自由に使用し、アイデアを形にすることができます。新しい感性で試行錯誤を繰り返しながら実験的なプロトタイプを自由に製作し、商品開発や技術開発をベースにした起業にも挑戦できるようにサポートします。

一人暮らしの学生も、通学する学生も、
それぞれの学生が時間の使い方を工夫して、充実した日々を過ごしています。

一人暮らし

田實 夕夏さん

芸術学科 造形芸術専攻 [4年]
神奈川県・湘南学園中学校高校出身

表現力を磨き続け、 芸術に携わっていきたいです

芸術学科 造形芸術専攻は学力試験で受験できることを知り、志望しました。これまで芸術に関する勉強をしてこなかったのですが、百貨店で展示する機会をいただき、卒業後も油絵作家として続けたいという意思がさらに強くなりました。また、表現力や感性を磨くため、休日には読書や映画鑑賞をして過ごしていますが、気づくと絵のことがばかり考えています。大学進学とともに一人暮らしをはじめ、充実した大学生活を送っています！



大学まで
自転車
で
約10分



パソコンで課題に取り組むこともあります。



バンドではベースを担当しています！



余裕があるときは自炊のようにしています。

通学生

福本 康介さん

芸術学科 舞台芸術専攻 [1年]
奈良県立高田高校出身

高校の時に励んできた演劇を 在学中に探求することが目標です

進路に悩んでいた時、母からの「自分が本気でやりたいことを意欲を持って取り組めることを探さない」という助言で、高校生の3年間動んできた演劇を深めたいと思い、芸術学科 舞台芸術専攻を志望しました。同級生や先輩は、自分よりも才能に溢れる人や何倍も経験値を持っている人が多いので、置いていかれないように、埋もれないように必死で食らいつく苦しさがあります。けれど、もがいた分、認められた時のうれしさが舞台芸術を学ぶやりがいにつながっています。将来のことはまだはっきりと決めていませんが、大学生の間に多くの舞台に立ち、経験を積みたいと思います。



大学まで
徒歩+電車で
約80分



教室間の移動はちょっとした気分転換です。

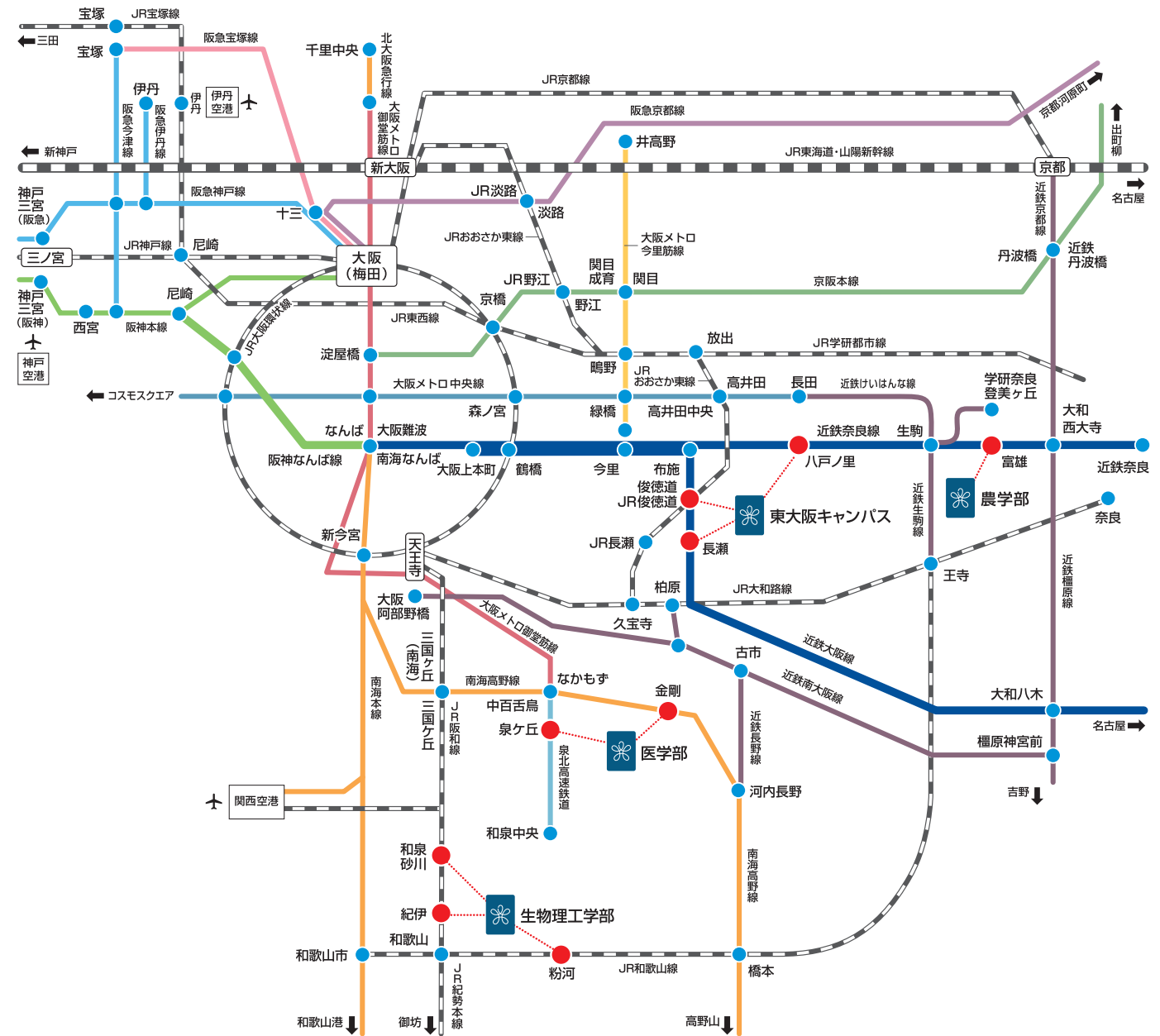


仲間でありライバルの同級生とは、演技に対して議論することも！



授業後には復習を兼ねてセリフ覚えに励むことが多いです。

路線図



各主要駅からの経路・所要時間（目安）

